

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

令和 2 年度事業分

令和 3 年 8 月作成

伯耆町教育委員会

目 次

○はじめに	1
○教育委員会の活動状況	2
○点検と評価の方法	6
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート	10

■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が令和 2 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

○伯耆町教育委員会委員名簿(令和3年4月1日現在)

教育長	箕 浦 昭 彦
教育長職務代理者	大 木 寿 之
委 員	羽 田 成 夫
委 員	松 岡 和 代
委 員	濱 田 真 代

○教育委員会の組織図



■教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月 2日	臨時会	報告	教育長就任及びあいさつ
		報告	教育長職務代理者の指名
		その他	伯耆町立小中学校入学式の告示について
		その他	事務連絡
4月 23日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	新型コロナウイルス感染症対策について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	伯耆町スポーツ推進審議会委員の任命について
		協議	令和2年度教育委員会関係補正予算(第1号)の原案について
		協議	令和2年度伯耆町社会教育計画について
		その他	高校生等通学助成金について
		その他	事務連絡
5月 26日	定例会	報告	教育長報告
		報告	5月臨時町議会提出案件等の結果について
		報告	新型コロナウイルス感染症対策について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定の専決処理について
		議事	校区外就学の専決処分について
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		協議	令和2年度教育委員会関係補正予算の原案について
		その他	教育委員会規則の改正について
		その他	成人式について
		その他	伯耆町家庭での通信環境調査集計表(アンケート調査結果)
6月 22日	定例会	報告	教育長報告
		報告	教育長報告
		報告	6月定例町議会提出案件等の結果について
		報告	西部町村教育委員会連絡協議会総会の書面決議の結果について
		議事	伯耆町教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について
		その他	学校訪問について
		その他	7月臨時議会提出予定の補正予算について
		その他	事務連絡
7月 29日	定例会	報告	教育長報告
		報告	臨時代理の報告について
		報告	令和2年度前期標準学力調査結果について

		議事	外国青年招致事業等により任用される外国語指導助手等の報酬等の支給及び決定に関する規則の制定について
		その他	第2次伯耆町教育推進基本計画素案について
		その他	夏休みのお楽しみ及び町民運動会について
		その他	事務連絡
8月5日	臨時会	議事	令和3年度に使用する中学校の教科用図書の採択について
		議事	令和2年度に使用する中学校の教科用図書の採択について
		その他	令和2年度鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会(書面)の開催について
8月25日	定例会	報告	二部公民館の運営状況について
		報告	教育長報告
		協議	令和2年度教育委員会関係補正予算(第4号)の原案について
		協議	令和元年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
		その他	事務連絡
9月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	9月定例町議会提出案件等の結果について
		報告	臨時の代理の報告について
		協議	総合教育会議の議題の原案について
		協議	第2次伯耆町教育振興基本計画素案に対する修正意見の取扱いについて
		その他	学校計画訪問について
		その他	事務連絡
10月23日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	生徒指導案件について
		協議	第2次伯耆町教育振興基本計画原案に対する修正意見の取扱いについて
		その他	GIGAスクール構想について
		その他	事務連絡
11月13日	臨時会	報告	生徒指導案件について
		協議	生徒指導案件について
		その他	事務連絡
11月25日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		協議	第2次伯耆町教育振興基本計画原案に対する修正意見の取扱いについて
		協議	第2次伯耆町教育振興基本計画案の決定及びパブリックコメントの募集について

		協議	令和2年度教育委員会関係補正予算(第5号)の原案について
		協議	物品購入契約の締結に関する議案の原案について
		協議	鬼の館長寿命化等改修工事の設計概要について
		その他	事務連絡
12月21日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	12月定例町議会提出案件等の結果について
		その他	令和2年度伯耆町教育委員会表彰(1次集約)について
		その他	学校訪問のまとめについて
		その他	令和3年度伯耆町教育に関する要望書について(PTA協議会)
		その他	令和3年度当初予算編成に係る要望について(校長会)
1月28日	定例会	報告	教育長報告
		報告	町民グランドナイター照明の撤去について
		報告	市町村教育委員会委員研修会について
		協議	第2次伯耆町教育振興基本計画案に係るパブリックコメントの募集結果及び意見のとり扱いについて
		議事	第2次伯耆町教育振興基本計画の策定について
		その他	新型コロナウイルス感染症対策に伴うイベント・事業の中止について
		その他	事務連絡
2月22日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	外国青年招致事業等により任用される外国語指導助手等の報酬等の決定及び支給に関する規則の一部改正について
		議事	伯耆町立小中学校管理規則の一部改正について
		議事	伯耆町立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
		議事	伯耆町教育委員会教育長の権限に属する事務の一部を学校その他の教育機関の長に委任する規程の一部改正について
		議事	伯耆町共同学校事務室設置規程の制定について
		議事	伯耆町立溝口中学校寄宿舎管理規則の廃止について
		議事	伯耆町立溝口中学校寄宿舎管理規程及び伯耆町立溝口中学校寄宿舎居住費用弁償金徴収規程の廃止について
		議事	令和2年度伯耆町教育委員会表彰について
		協議	令和2年度教育委員会関係補正予算(第7号)の原案について
		協議	令和3年度教育委員会関係当初予算の原案について
		その他	溝口中グランドナイター照明設備の撤去について
		その他	事務連絡
		3月12日	臨時会
3月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定

	報告	3月定例議会提出案件等の結果について
	報告	臨時の代理の報告について(令和3年度伯耆町教育に関する要望書について)校区外通学の専決処理について
	議事	令和3年4月1日付け教育委員会事務局関係職員の人事異動について
	議事	公民館運営審議会委員の委嘱について
	議事	文化財保護審議会委員の選任について
	議事	スポーツ推進委員の選任について
	議事	伯耆町立小中学校におけるタブレット端末使用規定の制定について
	議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
	議事	学校医の解嘱及び委嘱について
	協議	令和3年度伯耆町学校教育基本方針について
	その他	教育情報セキュリティ基本方針及び同対策基準について
	その他	事務連絡

	開催回数	16
案件別提出件数	報告件数	39
	議案件数	26
	協議件数	19
	その他件数	31
	合計	115

2. 教育委員会関係会議・事業等

(1) 教育委員研修会・会議

- 中国地区教育委員会連合会研修会(中止)
- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会(オンライン開催)
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会・研修会(書面開催)

(2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 教職員離任式

(3) その他

- 総合教育会議(1回)

令和 2 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

□点検と評価の方法

令和 2 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ推進審議会委員及び教育委員に意見等を求めた。

□点検・評価対象事業

伯耆町教育振興基本計画の事業展開方針に基づき、取り組んだ事業を対象とする。

1. 学校教育関係事業基本方針「社会の一員として自立して生きていく児童生徒の育成」

(1) 学校・家庭・地域の連携

①家庭・PTAとの協働による望ましい生活習慣・学習環境づくり

- ・PTA活動の充実
- ・家庭教育講演会・講座
- ・「家庭教育ハンドブック」の活用促進など

②地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みの構築

- ・伯耆町教育ネットワーク会議
- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
- ・地域学校協働本部事業（CSディレクターの配置）
- ・学校土曜授業、社会教育施設土曜事業
- ・放課後子供教室など

(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

①一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の開発

- ・「保小中一貫カリキュラム」の運用
- ・保育所、小学校、中学校の児童・生徒交流活動
- ・中学校教員の小学校への乗り入れ授業
- ・伯耆町就学支援検討会
- ・保育所職員、教職員の情報交換会、合同研修など

(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

①確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・各種学力調査の分析に基づく学力向上推進計画の推進
- ・夏季等学力補充教室の実施
- ・体力・運動能力調査結果に基づく体力向上計画の推進
- ・町人権教育研究大会
- ・中学校各1名、小学校1名のALTの配置
- ・栄養教諭等による食育の充実など

②教職員の指導力向上のための研修の充実

- ・校内研修への外部指導者招聘
- ・町教振研究大会での悉皆研修
- ・町教委主催各種研修会の実施など

(4) 人にやさしい学校教育環境の整備

①人にやさしい学校教育環境の整備

- ・少人数学級の実施
 - ・学習支援員と学校司書の配置
 - ・校務支援システムの活用
 - ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、早期支援コーディネーターの配置など
- ②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備
- ・学校施設・設備の充実
 - ・スクールガードリーダーの配置
 - ・スクールバスの運行体制の充実
 - ・ICT環境の整備
 - ・自然災害等緊急時対応方針の共有
 - ・給食センターにおける調理業務民間委託と管理、施設改修及び設備更新など

2. 社会教育関係事業基本方針 「学び続けるための環境づくり」

(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供

①生涯学習の推進

- ・公民館改修又は空公共施設の有効活用
- ・公民館を核とした住民活動の支援と関係課との連携
- ・生涯学習情報の積極的な発信
- ・公民館活動のさらなる充実と参加者の増員
- ・地域指導者の発掘
- ・成人団体の育成 など

②読書活動の推進

- ・図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・ブックスタート、ブックセカンド、ブックサード事業の実施
- ・あたまいきいき音読教室の開催など

(2) スポーツ・レクリエーションで心と体の健康づくり

①生活の中にスポーツがある暮らしの支援

- ・幼児・子どものスポーツ活動の推進
- ・ジュニアクラブの活動支援
- ・スポーツクラブとの連携による健康づくりなど

②いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

- ・体育施設の管理及び長寿命化工事の実施
- ・ナイター施設の集約改善
- ・スポーツ団体等の活動支援など

③スポーツでつながり広がる交流・連携の推進

- ・ジュニアトライアスロンの開催支援
- ・スポーツ交流の充実・支援
- ・競技スポーツの支援など

(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成

①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備

- ・「共育」環境づくり
- ・青少年育成伯耆町民会議等関係団体の活動支援
- ・PTA協議会等との連携強化と活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・地域指導者の発掘養成など

②家庭教育の充実

- ・「家庭教育ハンドブック」の活用促進など（再掲）

- ・放課後子ども教室の設置（再掲）
- ・スクールガードリーダーの配置（再掲）
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催など

(4) 人権尊重のまちづくりの推進

①人権教育・人権啓発の推進

- ・明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・相談業務の拡充
- ・個別計画に基づく事業の推進
- ・文化センター活動の充実など

(5) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

①文化財の保存と活用

- ・文化財調査及び文化財保護
- ・文化財教室等の開催
- ・郷土学習の支援
- ・文化財の保存・展示施設の整備
- ・情報発信、周知活動の充実など

②地域芸術文化の振興

- ・伝統行事や地域文化活動の開催等支援
- ・文化施設の整備及び利用促進
- ・芸術文化活動の発表の場づくり
- ・町文化振興会などの文化芸術団体及び個人の活動支援と活動の周知など

③芸術文化活動を通じた体験・交流の推進

- ・西部圏域の市町村との交流事業の取り組み
- ・読谷村教育交流事業の実施
- ・フォトスクール、ワークショップなど

□評価方法

1. 評価記号の説明

評価記号	説明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

2. 評価基準

「(1)評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

3. 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

4. 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業等の扱いについて

◇点検評価の基本的な考え方

事業や活動数で評価をしているのではなく、ねらいが達成できているかで評価を行う。

①事業そのものがまったくできなかった場合（例：運動会、町スポーツ大会など）
「空欄とする」

事業をやってはいけない状況であり、できなかった事業を評価することはできないため

②いくつかの事業は実施できた場合（公民館体験活動など）

実施状況に応じ、ねらいが達成できたかどうかで評価する「○」「△」など

③予定していた事業に対し代替となる取組を行った場合（ひまわりセミナー、成人式など）
ねらいが達成できているかどうかで評価「○」「△」など

令和 2 年度事業 伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 学校・家庭・地域の連携	① 家庭・PTAとの協働による望ましい生活習慣・学習環境づくり	1	PTA協議会補助金	生涯学習	町内小中学校6校のPTAが合同で活動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助金を交付することで、PTA活動の活性化に寄与する。	<p>例年町と共催で講演会を開催し、講師料に対する補助金を支出しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により補助対象となる事業が実施されなかったため補助金交付は無かった。</p> <p>近年、講師謝金を必要としない講演を実施し、補助金の執行がなかったことから、令和3年度以降は、必要時に予算計上することとし、令和3年度は予算計上は無しとした。今後も連携体制を継続しつつ、PTA活動の活発化に向け支援する。</p>	
		2	家庭教育支援事業	生涯学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	<p>・コロナ禍の状況下、各保育所、学校における家庭教育・子育て講演会が中止となった。代替として家庭教育に関する講演を町ケーブルテレビの協力で収録しDVDにした。各園、学校への貸し出し、図書館へ配置し一般への貸し出しを行った。(坂田かおり氏)</p> <p>・1歳6か月検診の待ち時間を活用して、家庭教育支援チーム事業「読み聞かせのすすめ」を実施(年2回)</p> <p>・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		3	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭教育ハンドブック」を小学校新入学生に配布する。	<p>・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えた町HP掲載の3冊(前期編・中期編・後記編)の紹介を行い、活用を促した。</p> <p>・学年懇談・学級懇談で、話題とする事項に関連するページを配布。</p> <p>・学校運営協議会でも学習時間の目安など、記載内容について話題に取り上げ、共通理解を図った。</p> <p>・今後も、家庭教育ハンドブックの配布を引き続き行いたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
	② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組み構築	4	伯耆町教育ネットワーク会議事業	生涯学習	社会の一員として自立していく児童生徒育成に向け目指す人間像を設定し、その実現に向けた保小中一貫した共通の取組等の協議を行う。	<p>「あいさつの響きあう町 伯耆町」の取組を推進するために、学校・保護者だけでなく、より広く地域住民と目標を共有する取組を進めた。→ チラシ、ポスター、広報紙、防災無線、のぼり旗等の広報活動を工夫しながら、効果を上げた。</p> <p>教育ネットワーク会議 コロナ禍の現状で、2回(7月、2月)の開催を予定していたが書面会議を行った。</p> <p>・7月(取組の現状と課題)、2月(成果と課題)</p> <p>引き続き、関係機関、地域住民に運動を広げていくために、あいさつ運動に関するアンケートを行って実態を把握し、広報誌等を活用した広報活動を行う。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 学校・家庭・地域の連携 (つづき)	② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組み構築(つづき)	5	学校運営協議会運営事業	総務学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。 平成30年度からは、各学校運営協議会の調整、学校支援活動の情報提供や地域学校協働本部事業の運営を行うため、CSディレクターを配置した。	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校で学校運営協議会指定及びCSディレクターを配置し、各コミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業の連携・調整・情報共有等を推進する伯耆町教育ネットワーク会議を設置することで、一体的に「地域とともにある学校づくり」を推進することができ、教職員の地域に対する意識改革や地域・保護者の学校経営への理解を深め、積極的な協力が得られるようになった。児童生徒も地域に目が向くようになった。 ・コロナ禍の現状、「学校づくりフォーラム」は開催できなかったが、二部小学運協の取組を町ケーブルテレビ放送を使い、広く町民に周知できた。 ・学校運営協議会の取組を広報誌で紹介するなどして、町民へのさらなる周知を行いたい。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		6	地域学校協働本部事業	生涯学習	地域住民が教育に関心を持ち、学校の教育活動に関わることで、子どもたちに多様な体験と交流の機会を提供し、確かな学力と人間力を向上させる。大人にとっても、新しい仲間づくり、生きがいづくりなど、地域の絆づくりに繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ①支援実績 学習支援252件、環境整備159件、学校行事6件、児童生徒による地域貢献11件 ②会議 地域学校協働活動実行委員会2回 コーディネーター定例会9回 ③研修 全国コミュニティ・スクール研究大会inとちぎ 県コミュニティ・スクール推進研修会兼地域学校協働活動研修会(11月) ※いずれもデジタル・フォーラムで配信されたものを視聴し、資料や内容をまとめて各校に配付した。 ④地域とともにある学校づくりフォーラム ※コロナ禍のため、町ケーブルテレビで「二部小学校の取組」についての番組を作成し、放送した。また番組のDVDを作成し、町内の各小中学校に配布した。 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式の下での持続可能な学校支援ボランティア体制の充実。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進。 ・学校教職員と学校支援コーディネータとの連携・協働による、社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組及び小中一貫した流れに沿ったコミュニティ・スクールの取組推進。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 学校・家庭・ 地域の連携 (つづき)	② 地域全体で 子どもを育 み、地域が 学校を支え る仕組み構 築(つづき)	7	子供の体験活動 事業	岸本 公民館	夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供する。事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子どもたちの協調性や社会性の醸成を図った。 ・夏休み体験事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業規模を縮小し、毎年行っている公民館教室協力事業は実施せず、公民館主催事業の巣箱作りのみ実施した。1回12名参加。 ・土曜日のお楽しみでは、2回の開催で延べ19名の参加があった。 ・昨年度に引き続き八郷小を会場とした子ども体験事業(土曜事業1回)を実施したが、コロナ禍ということもあり参加者が少なかった。事業の見直しや一層の呼びかけを行い、引き続き八郷小児童も参加しやすいように八郷小学校を会場とした子ども体験事業を実施する。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				溝口 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々の協力で、世代間交流を推進した。 夏季休業中に2事業(前年11)、冬季休業中に2事業(前年2)、延べ49名(前年331名)の参加があった。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業規模を縮小して実施した。 ・子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、子どもたちに体験を通じて日本の伝統的文化等は継続発展させるよう取り組んでいく。 ・感染状況等を勘案しながら実施する。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、ものづくり活動、地域歴史体験などを通して、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。また、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で森のようちえんの子どもたち・保護者及び二部地域で活動している団体(つくしの会、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど)と協力した事業が十分に開催できなかった。 ・夏休みの事業も新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で1事業にとどまった。 実施回数:5回 延べ参加人員:133名 ・地域住民・子ども・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進。 ・本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、4館合同の事業を継続していき、子どもたちの交流を図る。 ・本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設する。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 学校・家庭・地域の連携 (つづき)	② 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組み構築(つづき)	7	子供の体験活動事業	日光公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・公民館教室等の連携を基に、自然体験や文化活動などの体験を通じて、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業規模を縮小し、土曜日のお楽しみでは1事業5名、夏休みのお楽しみ事業等では、1事業、21名の参加があった。特に溝口小学校の「冬みつけ」(参加者43名)と岸本小学校の「雪遊び」(参加者49名)では日光の大自然を体験してもらえたと感じた。 ・日光地区協議会主催事業の「大山日光清流まつり」では、ヤマメつかみ取りなどの自然体験・地区住民同士の交流や義方校区の親子との交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止とした。 ・地区住民や日光地区協議会と連携し、日光の特色を生かした事業内容を工夫するとともに、内容を見直しながら無理の無い取組を検討していきたい。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必要。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		8	子供の体験活動事業	総務学事	各学校で独自の取組を行っているほか、学校支援地域本部事業と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施している。	主な活動 ○作物・米・花栽培 ○遠足の協力 ○スキー教室等 学校の教育課程と関連させた活動に地域の方々を巻き込んでいけるよう、学校運営協議会やCSボランティアコーディネーターと引き続き連携していきたい。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		9	放課後子供教室	生涯学習	子どもたちの放課後の居場所づくり・保護者の就労支援のほか、子どもたちが安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・地域の大人との交流や体験活動などを通じて、コミュニケーション力や地域のつながりを育む。また、放課後児童クラブとの連携も図り、一体型の取組を進める。	実施状況 ・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・水) 83回 ・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 83回 ※新型コロナウイルス感染防止のため、4、5月の活動は中止した。 主な活動 ・体力づくり、学習、読み聞かせ、工作等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 一体型の工夫 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫 ・安全管理マニュアルの活用と安全面を十分に配慮した活動。 ・指導する人材の確保と指導体制の充実(情報共有による活動状況の把握と改善に向けての協議)。 ・多様な子どもの特性を理解した運営(学校との連携)。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		10	伯耆町教育振興会事業 ・地域教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	・夏休みのお楽しみ事業や土曜授業への参加、専門部研修会、地域とともにある学校づくりフォーラム(CATVにより放送)等、地域学校協働活動の共通理解と着実な推進を図った。 ・「地域の資源(人、もの)を知るための事業」として、各学校のコミュニティスクール担当と学校支援コーディネーターの情報交換会開催を検討する。	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続	① 一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の開発	11	伯耆町教育振興会事業 ・保小中一貫教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部会、小中情報交換会を開催し、各校の状況の共有・共通実践項目のチェックや今後の取り組みの確認を行った。また、授業研究会への相互参加による授業改善や保・小、小・中の交流を進め連携強化を図った。 ・共通実践項目や目指す人間像といった理念について、年度当初に確認したうえで、具体的な取組を進めていく。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		12	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・小中一貫関係事業	総務学事	小中一貫教育カリキュラムを活かした授業づくりのスキルを高めるよう、各中学校区で全教職員を対象にした授業研修会等を開催し、授業改善の共通認識の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価研修、小中合同授業研究会を開催し、教職員の授業力向上及び『保小中一貫カリキュラム』を活用した授業づくりのスキルを高めた。 ・新学習指導要領に沿って、各学校で小中一貫カリキュラムの見直しを進める。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		13	スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動)	総務学事	中学校区での保・小・中が校種の枠を超えてスクラムを組み、一貫性のある教育や各種取り組みを行うことで、学力向上・不登校防止・職員間の情報共有等に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 小・中交流会、保・小交流会、授業体験交流、合同研究会等の実施による連携強化、中一ギャップの解消、教員間の情報共有等を図った。また、スクラム教育に関するまとめ冊子を発行した。 岸本中学校区 小中交流会1回 保小交流会5回 溝口中学校区 小中交流会2回 保小交流会5回 ・今後も学力・体力向上や不登校防止など、成果を見極めて内容を精選し、課題に応じた取組を進めていく。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		14	中学校教員の小学校への乗入授業	総務学事	小中の職員が互いに乗り入れて学習指導することで、中1ギャップへの対応、専門性を生かした授業内容の充実や学習意欲の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・算数、音楽について、溝口中学校から二部小学校・溝口小学校へ乗り入れ授業を行い、より専門的な指導力を生かした授業実践につながった。 ・教職員の配置により、乗り入れ授業の実施の可否が決まるので、必ずしもそれぞれの学校の課題に応じた配置や計画になりにくい面がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		15	就学支援検討会	総務学事	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適応などの2次障害を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階での関係機関による連絡会議開催で、対象児童の状況把握を行ったうえで、複数回の観察会、5歳児検診・相談等を経て就学支援検討を行った。 ※保→小13件、小→中17件の事案について対応・支援 ・観察記録シートの改善をし、視点を細分化した必要な支援についての協議の充実が図れた。 ・コロナ禍で5月の全体会は開催できなかったが、各小中、保幼の機関との連絡会を個別に行うことで、就学支援の方向性が確認できた。 ・支援の必要な子どもの多面的状況把握のための関係機関の連携に努め、本人・保護者の思いに寄り添った適切な就学支援につなげる。 ・西部就学支援検討会に向けて、関係機関との事前協議をさらに綿密に行いたい。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき)	① 一貫した理念に基づく保育所・小学校・中学校の連携・接続の開発(つづき)	16	伯耆町教育振興会事業 ・就学支援	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局等及び関係機関で組織を構成し、就学支援教育充実のための連携推進や小中の小中の特別支援学級の交流活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・保小中からみた発達障がいの子どもの理解と支援に関する研修会を開催し、発達障がいの子もたちが抱える課題や分析実験シートによる子どもの見とりなどについて知見を深めた。 ・次年度も長期休業を利用して、研修を行いたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		17	中学校区の児童生徒を語る会	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区毎に、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。 岸本中校区：各学期1回、溝口中校区：各学期1回 ・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
1-(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	① 確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	18	学力向上推進計画策定と進捗管理	総務学事	全国学力・学習状況調査及び標準学力調査(年2回)の結果をもとに、各学校毎に児童生徒の学力向上に向けた取り組みを計画的に実施すると共に、継続的な計画の取り組みによって、的確な指導体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査は中止となったが、標準学力調査の結果をもとに、各学校毎に学力向上に向けた取組を計画を実施することができた。 また、各学校が次年度の学力向上計画を作成し、これらをもとに町としても学力向上推進計画を作成することができた。 ・計画訪問、授業研究会等で、随時各学校の取組状況を確認しながら、指導助言にあたるようにする。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		19	標準学力調査及び分析の実施	総務学事	標準学力調査を年2回実施し、学力の定着状況を把握・分析することで、児童生徒の課題の改善及び教育施策の成果と課題を検証する。また、教育指導の改善、学力向上推進計画のPDCAを継続的に行う体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各校教務主任と連携し、各学校が標準学力調査の結果を詳細に分析した上で、各校の取組を共有し、児童生徒の課題・改善に向けた取組につなげることができた。 ・計画訪問、授業研究会等で、児童生徒の課題を明確にししながら、各学校の取組に対し、指導助言にあたるようにする。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
		20	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・学力補充関係事業	総務学事	各学校毎に、学習状況に課題のある児童・生徒を対象にした学力補充教室を開催すると共に、指導補助員を配置し、よりきめ細やかな指導体制を整備することで、児童生徒の学力向上を図る。 また、英語教育推進を目的に、英語学習に目的意識を持って取り組めるよう英検受験料補助事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの夏季休業中の学力補充教室は実施できなかったが、伯耆未来塾を実施し、生徒の学力向上に努めた。 ・英検受験では、溝口中学校会場で、小学生の受験を実施した。 ・学力補充教室は、学校規模によっては、実施回数の確保が難しかったり、参加者が多いため個別の課題に応じた支援が難しかったりするため、実施方法等について工夫・見直しが必要。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ ぎ)	① 確かな学 力と規範意 識、豊かな 心と健やか な体を育む 教育(つづ ぎ)	21	体力向上計画策 定と進捗管理	総務 学事	全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果をもとに、各学校毎に体力向上計画を策定し、体力向上等に対する的確な指導體制を確立することで、児童生徒の健康増進に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力・運動習慣調査は、町内全校での実施はできなかったが、各学校毎に体力向上計画を策定し、課題に応じた体力向上の取組をすることができた。特に鳥取県の課題である柔軟性については、具体的な数値目標を決めて取組を進めた。 ・課題となる種目があり、今後も経年で系統的に実態を把握しながら取組を継続していく。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		22	伯耆町教育振興 会事業 ・人権教育	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・町人権教育研究大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、地区進出学習会・文化センターでの現地学習等を開催し、教員の知識・技能の向上など人権教育の一層の充実を図った。町人権同和問題実践研究、だんだんまつり等は実施できなかった。 ・人権学習について、町内の全小中学校で指導事項・内容等の共通理解を図り、共通実践を進めていく。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		23	小学校外国語教 育推進事業	総務 学事	令和2年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、導入される小学校での外国語教育の円滑な移行に向けて、町内4小学校を受け持つALT1名を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への英語教育導入に対応するため、町内全小学校を対象したALTを1名配置して英語教育を支援するとともに、国際理解教育を支援した。また、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与した。 ・引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		24	外国青年招致事 業	総務 学事	岸本中学校と溝口中学校にALTを1名づつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校にALTを配置し英語学習と国際理解の充実を図った。また、公民館の英会話教室での講師、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与した。新型コロナウイルス感染症の影響により、7月までの配置となった。 ・引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		25	栄養教諭による 食指導	給食セン ター	栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらうことで、食育の推進を図った。 ただし、栄養教諭が育休・産休となったことによる約1カ月空けての代替職員(学校給食未経験者)配置及び新型コロナウイルス感染症の影響により、栄養指導等の回数は減少した。 また、毎年実施している生産者やセンター職員と児童との交流給食も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。 ・県が育休・産休の代替職員等を募集しても、なかなか見付からないことが多々あるため、1人態勢になった時の十分な食育、栄養指導等への対応の検討が必要。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進(つづき)	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育(つづき)	26	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食調べを全小中学校で行ったほか、生活習慣・アレルギー対応・歯科保健事業の活用などについて、情報交換を行い、今後の取組の参考とした。 ・朝食調べを継続するとともに、各保育所・学校での生活習慣改善の取り組みを調査する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		27	運動部活動推進事業	総務学事	地域の専門的指導者を部活動指導に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動外部指導者活用事業(県事業)を活用し、岸本中学校でバレーボール部、溝口中学校で剣道部の外部指導者派遣を行い、専門的指導等を実施した。 また、中学校部活動指導員配置事業(国事業)も活用し、岸本中学校でバスケットボール部及び柔道部、卓球部、陸上部に、溝口中学校では柔道部に部活動指導者を配置し生徒への指導のみならず、教員の負担軽減を図ることができた。 ・引き続き、県事業及び国事業を活用し、専門的指導が必要な部活動に外部指導者及び部活動指導員を配置し、部活動の活発化、生徒の技能向上並びに教職員の負担軽減を図りたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		28	特別非常勤講師配置事業	総務学事	地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本小5名、八郷小2名、二部小5名の推薦を受け、特別非常勤講師を配置した。各自の専門的な知識や技能を活かし、授業の充実が見られた。 ・引き続き、各学校の実態に応じ、専門的な知識技能を有する者を特別非常勤講師として配置し、授業の充実を図る。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		29	青雲寮管理運営事業	生涯学習	溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の合宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に作成した設計を基に溝口中学校調理室と合宿施設、避難所の機能を兼ね備えた施設とするため改修工事を行った。また併せて必要な備品も購入した。工期 令和2年6月17日～8月31日 改修後の維持管理は溝口中学校へ移管した。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		30	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・各校研修会	総務学事	各学校の授業研究会へ外部講師を招聘し、授業の質的な向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各校授業研究会のほか、本事業で外部講師の指導(リモートを含む)による授業研究会等を二部小学校6回、岸本中学校1回を開催した。 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 教職員の指導力向上のための研修の充実	31	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・教委研修会	総務学事	小中一貫教育・人間力定着の取り組みをより有効なものにするため、教員の授業力や管理職等のマネジメント能力を高める管理職研修会等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、小中一貫授業力向上研修会の開催はできなかったが、各学校において、小中一貫カリキュラムを活用した授業づくりが進められた。 ・取り組みをより有効なものにするため、HK30プランに基づき関係組織・地域等との連携・協働体制を拡充する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ ぎ)	② 教職員の指 導力向上の ための研修 の充実(つづ ぎ)	32	伯耆町教育振興 会事業 ・研究大会	総務 学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教 職員の資質向上を図るため、本町独 自の研修を実施する。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、町教振研究大会は実施できなかった。 ・今後のニーズや社会情勢に対応した研修等を開催し、教職員の知識・技能の向上を図る。	
		33	伯耆町教育振興 会事業 ・授業研究会	総務 学事	授業研究会を開催することで、個々の 教職員の資質・能力を高めるとともに、 教職員の協働性を高め学校力の向 上・充実を図る。	岸本小3回 八郷小6回 岸本中3回 岸本中学校区合同1回 溝口小4回 二部小3回 溝口中2回 溝口中中学校区合同1回 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れる よう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		34	伯耆町教育振興 会事業 ・生徒指導	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務 局及び出先機関で組織を構成し、各種 専門部会を設置して、町の幼児・学校 教育の研究推進や地域の教育力向上 を図る。	生徒指導担当者会2回、研修会1回等を開催した。 ・第1回生徒指導担当者会 情報交換、夏休みのくらしについて、夏休中の児童生徒向け放送について ・第2回生徒指導担当者会 情報交換、冬休みのくらしについて、冬休中の児童生徒向け放送について ・研修会 「どの子どもかがやくために」(町SSW堀江氏) ・担当者会において全員が集まれるよう、早期の日程調整や年間を通じた日時 の決定など対応を検討する必要がある。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		35	小中一貫学力・ 人間力定着促進 事業・小中一貫 関係事業(NO12 事業の再掲)	総務 学事	小中一貫教育カリキュラムを活かした 授業づくりのスキルを高めるよう、各中 学校区で全教職員を対象にした授業 研修会等を開催し、授業改善の共通 認識の醸成を図る。	・学校評価研修、小中合同授業研究会を開催し、教職員の授業力向上及び『保 小中一貫カリキュラム』を活用した授業づくりのスキルを高めた。 ・新学習指導要領に沿って、各学校で小中一貫カリキュラムの見直しを進める。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		36	学校要請訪問、 学校随時訪問	総務 学事	各学校の校内授業研究会での指導助 言や 授業参観・授業評価及び学校長への 指導助言を目的として学校訪問を実施 する。	・校内授業研究会、小中合同研究会に可能な限り参加し、研究推進の進捗を見 取るとともに、教職員への指導助言を行うことができた。また、管理職との協議の 中で、各学校の研究推進への助言を行うことができた。 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れる よう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		37	学校計画訪問、 行事訪問、講師 訪問、本務者訪 問	総務 学事	各学校の運営状況及び授業実践の把 握を行うため、各種訪問を行い、各校 の課題改善に努める。	・町教委学校計画訪問 各小中学校1回 ・行事訪問(各式典参列) ・西部教育局学校訪問 各学校2回 ・上記の訪問による各学校教育の見取りをまとめて、還元することができた。 ・教育委員による学校教育の見取りの結果を、今後とも学校に還元し、促進と改 善を促していく必要がある。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(4) 人にやさしい学校教育環境の整備	① 人にやさしい学校教育環境の整備	38	少人数学級実施事業	総務学事	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・二部小 5・6年複式⇒5学年及び6学年単式学級 定員1名増 ・八郷小 3・4年複式⇒3学年及び4学年単式学級 定員1名増 ・岸本中 1・2年⇒少人数学級実施複式 定員4名増 ・上記により、きめ細やかな学習指導、一人ひとりの変化への気づきによる速やかな生徒指導の両面で教育効果をあげている。このほか、学校からは、不登校等の諸問題についても、有用性が認められると報告されている。 ・今後は、小学校において増加が想定される複式学級への対応を検討する必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		39	スクールソーシャルワーカー活用事業	総務学事	いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・SSW1名、SSWS2名を配置し、学校・関係機関と連携・情報共有のうえ、問題を抱える児童生徒の個別の状況や問題点の把握・確認、支援方針の確立等、支援を行い課題の解消につなげた。 ・ケース会議数 教職員：38回 関係機関含：40回 ・教育支援センター相談員をSSWS(サポーター)として学校へも不定期に派遣し、よりタイムリーな相談活動、情報収集活動を行う。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		40	スクールカウンセラーとの連携	総務学事	本町のスクールソーシャルワーカー、早期支援コーディネーター等と県教委雇用のスクールカウンセラーが連携することで、児童生徒の抱える課題解決に向けた支援体制を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWとSCの勤務日を合わせる工夫を図り、教職員とも一緒に児童・生徒の状況把握や問題点の確認をおこない、役割分担あるチーム支援が行えた。 ・困難事例や、突発的な事故等の発生時の援助体制の一層の整備を図る。 ・継続事業だけでなく、未然防止の視点からのチーム連携の強化を図る。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		41	特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター	総務学事	特別な支援が必要となる可能性がある子ども及びその保護者に対し、学校・家庭・関係機関との連絡・調整を行う早期支援コーディネーターを配置することで、早期からの情報提供・相談会実施など柔軟できめ細やかな対応ができる一貫した体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・LD等専門員や保健師等と連携し、訪問による行動観察や発達検査等から、必要な指導や支援について、保育士や担任等への実効性ある具体的助言指導を行った。 ・保護者への相談会を実施し、発達障がいをはじめ、様々な支援が必要な幼児・児童について、生活上必要な支援の助言や、就学先についての情報提供等を行った。 ・早期支援チーム会議での情報共有を通し、3歳児健診からの幼児の実態把握・課題共有に努め、適切な就学支援に向けた具体的連携体制を構築する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		42	特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等	総務学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員を配置することで、対象児童生徒の安心できる教育環境を整備するとともに、担任教員の効果的な授業づくりや学級経営に専念できる環境を整備した。 ・学習支援員 岸本小5名 八郷小2名 溝口小2名 二部小1名 岸本中1名 溝口中1名 ・卒業まで継続的な支援が必要となることが多いことや、近年対象児童生徒が増加する傾向にあるため、学習支援員等の確保と、研修会等への参加を促進することで専門知識・技能の一層の向上を図る必要がある。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(4) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	① 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	43	学校図書整備及び図書館司書配置	総務学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や児童生徒の読書活動推進に寄与する。	・司書教諭補助職員として学校司書を全小中学校に配置し、司書教諭及び学級担任、教科主任等と連携しながら児童生徒の学習を支える学校図書館づくり、読書活動推進に努めた。 ・児童生徒の学校図書館利用を多面的に見つめ、活字離れの解消につなぐ魅力ある環境づくり、読書活動の推進に努める。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		44	校務支援システムの活用	総務学事	校務支援支援システムを導入し、個々の教職員の持つ様々な児童生徒の情報や指導要録などを発信・受信・共有・一元管理することで、教職員の多忙感解消や教育の資質向上を図る。	・教職員の多忙感解消や教育の質向上のため、県内全小中学校に共通の業務支援システムが導入され、平成30年度より運用開始となった。これによりどの学校に異動となっても同じシステムでの業務となるため、教職員の業務が軽減された。 ・システム研修等を重ねて、一層の有効活用を図る。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		45	教育支援センター運営事業	総務学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行う。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	・通級生徒 中学生4人 ・学習指導員1名、相談員2名を配置 ・毎月定例会を開催しSSWとの情報共有を図り、該当校との連携に努めた。 ・通所生徒の保護者の相談にも寄り添い、関係機関での連携体制の構築を図った。 ・子どもの状況を把握した上での必要な支援について長期的な視点と短期的な視点とを持ちながら、関係機関の一層の連携を図り、子どもの社会的自立をめざした支援に努める。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		46	就学援助事業 ・要保護、準要保護	総務学事	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	・令和2年度認定:90名(56世帯) ※昨年に引き続き、母子、父子家庭が半数以上を占める(42/56)。 ※入学前支給(10名) ・引き続き、金銭的に生活が苦しい保護者に対し、教育費(学用品、給食費)を適正に援助する。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		47	就学援助事業 ・特別支援教育 就学奨励金	総務学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	・令和2年度認定:18名(18世帯) ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。 ・引き続き、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援し、金銭的負担の軽減を図る。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	48	学校施設整備事業	総務学事	老朽化施設や大規模な修繕が必要とされる施設について、長寿命化や安全性の向上等を図り、児童生徒の教育環境を整備する。	・老朽化した施設の改修工事を行い快適な学習環境を整備した。 【主な施設修繕】 八郷小学校のトイレの洋式化改修工事 二部小学校のトイレの洋式化改修工事 令和3年度は大規模な修繕を必要とする工事予定なし	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(4) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	49	小学校施設修繕事業	総務学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<p>・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本小:テニスコート修繕、4年2組空調機修繕、プールシャワーユニット他修繕ほか 八郷小:グラウンド遊具撤去工事 二部小:屋外子時計修繕、プールサイド埋没給水管修繕、児童トイレ修繕ほか 溝口小:プール塩素濃度調整器修繕</p> <p>・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		50	中学校施設修繕事業	総務学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<p>・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本中:屋外スピーカー修理、生徒玄関スロープ・体育館渡り廊下壁補修ほか 溝口中:放送施設(チャイム)更新、溝口体育館横排水路余水吐設置ほか</p> <p>・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		51	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	総務学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行うことで、多様化する教育に対応する。	<p>・各学校児童生徒数に応じ、管理備品・振興備品の予算配当を行い、必要な教材・教具・備品を整備した。</p> <p>・引き続き、必要な備品等を整備し、多様化する教育に対応していく。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		52	学校安全体制整備推進事業	総務学事	小学校において、実践的事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	<p>・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。</p> <p>・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		53	バス事業担当課との連携	総務学事	バス事業担当課と連携をとり、スクールバスによる通学を、より安全かつ充実するよう運行体制の充実を図る。	<p>・関係機関等と協力し、スムーズなスクールバス運行体制を確保した。</p> <p>・引き続きバス担当課と連携をとり、ニーズ等を踏まえた利便性の高い運行体制やバス利用の際のマナーの徹底などに取り組む。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(4) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	54	ICT環境の整備	総務学事	ICT教育の充実を図るため、設備・ソフト等ICT環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・国の一人一台の学習用PC配備など「GIGAスクール構想」として、通信環境を整備した。予算は令和元年度繰越事業と、令和2年度当初予算・補正予算と併せて、令和2年度中に一人一台体制を完成。 【主な導入機器等】 ・タブレット端末(クロームブック)を899台(児童生徒教員及び予備分) ・サーバやネットワーク機器更新 ・デジタル教材導入(タブレットドリル)を児童生徒分 ・電子黒板の新規設置(小中学校55台) 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		55	防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実	総務学事	各学校毎に防災教育・避難訓練・避難計画作成等を行い、災害時等における児童生徒の安全確保に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校作成の学校安全計画や危機管理マニュアルに基づき、防災教育、避難訓練等を実施した。浸水水想定区域や土砂災害警戒区域にある学校については、水防法及び土砂法に基づき避難確保計画を策定し、緊急時に備え各小中学校で避難訓練等を実施した。 ・今後は、避難確保計画等に基づく防災・避難訓練などを行い、緊急時の対応能力を高めるほか、PDCAサイクルにより計画等の実効性を高めていく必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		56	学校給食施設管理運営事業	給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・調理業務等の民間委託を引き続き実施(現契約は令和4年度まで)。 ・各種細菌等検査の実施、清掃・衛生の徹底など。 ・調理委託事業者から報告があった調理備品等の不具合修繕、買い替え。 ・学校給食食物アレルギー対応委員会を開催し、アレルギー対応の問題点等がないか確認を行なった。 ・学校給食だよりに給食のレシピを毎月1品ずつ掲載した。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		57	学校給食費補助事業	給食センター	給食費の保護者負担を軽減するため、1食につき100円の補助を実施する。また、5～9月については、さらに補助を行い、保護者負担をなくす(子育て支援学校給食費補助金 小学校:190円/食、中学校:240円/食)。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の軽減と安定的な給食の供給ができた。 ・100円/食 補助額 15,157,579円 ・子育て支援補助金補助額 13,705,976円 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
					<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度からは、1食当たり50円を増額し、150円の補助を行い、保護者負担の軽減を図っていく。 			

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(4) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	58	食材供給連絡協議会との連携	給食センター	伯耆町内の農業生産者で構成する組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会との調整会議を月1回開催 ・伯耆町産使用率【鳥取県調査対象の44品目(野菜だけでなく、魚介類等も対象)のみの割合】45.2%(前年度48.6%) ・町内産のみで賄えた主な食材 米、白ねぎ、そうめんかぼちゃ、メロン、ゆず、りんご、いちご等 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年3月は3月2日を除いて小中学校は臨時休業となり、食材はほぼ全てキャンセルしたが、転売できず廃棄となった野菜については、令和2年度に入って国の補助事業を利用して補償することができた。 ・町内産食材の使用率の一層の向上 ・協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の拡大を図ることが必要。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		59	伯耆町教育振興会事業 ・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・共同実施で取り組む業務の改善と情報の見える化を重点目標として、定期的な会合を開催し、教材使用届様式の統一、簿冊管理リストの統一化に向けた改定などを行った ・令和3年度から導入が予定されている共同学校事務室での業務について検討していく必要がある。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供	① 生涯学習の推進	60	公民館改修又は空公共施設の有効活用	総務学事	溝口中学校特別教室棟の老朽化のため改修が必要な状況のため、調理教室を青雲寮に移転することで施設の有効活用を図るよう、令和元年度に設計を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・溝口中学校の調理教室と通学合宿等宿泊施設(青雲寮)の複合化を図ること で、青雲寮の有効活用ができるよう改修等工事を完了した。 ・今後の管理体制等について検討が必要 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	①生涯学習の推進(つづき)	61	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	岸本 公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・松栄学級(高齢者学級、受講生35名)は、新型コロナウイルスの影響により6回の開催(通常は10回)で延べ124名の参加があった。 ・成人講座は1回の開催で16名の参加があった。 ・男性講座「楽しみ隊」は、新型コロナウイルスの影響によりすべて中止。 ・家庭教育支援講座は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止した。 ・八郷地区の住民に対し、生涯学習機会の提供を図るため令和元年度から図書館と連携し八郷小学校を会場に出張公民館・図書館を年7回開催した。八郷文化展出展に向けパッチワーク作りを中心に行った。(1月八郷文化展は新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止。) ※4～5月、1月以降は、新型コロナウイルス感染症防止対策のためすべての事業を中止。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				溝口 公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・松栄学級の受講生数は、平成30年度から35名程度で推移している。 ・アンケートを反映し、町外研修や参加してみたい講座を実施する。また、送迎バスを運行していること等周知を図る。 ・成人講座及び男性講座は、コロナ禍でも楽しみ学べる講座を工夫する。 ・出張公民館・図書館は、参加者は少人数だが楽しみながら学習している。八郷小学校を利用していることもあり、平日の限定された時間の開催となっている。また、会場までの交通の便、参加者や年代層の固定化が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴寿美学園(高齢者教室) 町内外研修 計6回開催 延べ199名(昨年356名)参加。高齢者へ他機関と連携して様々な分野から学びの場を提供し、生きがいや健康づくりと合わせ、他の公民館との交流促進を図った。 また、布絵本づくり体験教室を月2回開催し、参加者アンケートでの振り返りは満足度が高い。 ・成人講座として手作り教室等を2回(昨年3回)開催、延べ33名(昨年30名)参加。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため事業規模が縮小となり、貴寿美学園については閉講式が中止となった。 	
					<ul style="list-style-type: none"> ・学園生の高齢化に伴い、会員は減少傾向にある。引き続き継続して呼びかけを行っていきたい。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していきたい。学園生は、令和元年度67人⇒令和2年度65人で微減となった。 		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	①生涯学習の推進(つづき)	61	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)(つづき)	二部 公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供する。 また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・子供・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進していきたい。 ・4館合同の事業を継続していき、子供たちの交流を図りたい。 ・米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設していきたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・多々楽学園・女性学級とともに、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等により4月、5月、1月から3月は、活動が中止になった。 多々楽学園:会員数46名、事業実施回数12回、延べ参加者数187人 女子学級:会員数43名、事業実施回数10回、延べ参加者数104人 引き続き会員等のニーズを把握しながら、学びの多い研修・講座を企画したい。 ・会員数はいつでも横ばい傾向であるが、既会員の呼びかけや、地域での呼びかけを行い、多くの地域住民に参加いただけるよう努力したい。 	
		62	高齢者教室交流事業	溝口 公民館	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町内の4つの公民館合同の研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。(昨年参加者118名) ・健康対策課との共催で「健康づくりフォーラムを開催した。参加者88名 開催日:12月19日(土)12:30~15:30 会場:鬼の館 ・4公民館の高齢者教室学級生寄稿による文集「だいせん」を作成・配布 作成部数 260部 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
			<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者学級の役員で構成する「合同役員会」を開催により、企画立案を図る。参加型の講演により、参加者の満足度が向上。4公民館協力して継続実施していきたい。 ・文集「だいせん」の作成は、学園生に負担感となることがないよう配慮する。 				

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	① 生涯学習の推進(つづき)	63	社会教育委員	生涯学習	社会教育の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育に関する政策等について意見聴取を行った。 社会教育委員会の開催 1回 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		64	生涯学習まちづくり推進事業	公民館	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談 ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月) 伯耆町ホームページで生涯学習に関する催し物、情報提供 四館の公民館同好会(教室)募集チラシをまとめて、区長便で全戸配布 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		65	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。 資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して研修会等に参加し、資質向上や情報交換に努める。社会教育主事は1名発令されている。必要に応じて、新規の社会教育主事講習受講者を増やしていきたい。 	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	① 生涯学習の推進(つづき)	66	地区公民館との連携	公民館	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習室と各公民館で定例会(月1回開催)を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、円滑な業務連携を行うことができた。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	②読書活動の推進					67	
					<ul style="list-style-type: none"> 情報交換等により、有効な事業を他の公民館も実施するなど、良好な連携ができており、継続実施する。また、小中学校を活用した公民館活動について、学校運営協議会などで検討し、学校と地域が連携した取り組みを推進したい。 特に新型コロナウイルス感染拡大防止に係る共通認識を図った。 		
					<ul style="list-style-type: none"> 図書館協議会では図書館活用に関する幅広い意見、課題をいただいていた。その中でも地域による活用格差が課題として挙げられてきている。その解消ため、令和元年度より、希望地域に出前図書館を開設した。協議会では、出前図書館の在り方や周知の必要性などについても検討がなされている。 町内には図書館を支えてくださる多くの方の存在があり、今後自治的に図書館運営に参加していただける「図書館友の会」の発足を目指していく。 		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	②読書活動の推進(つづき)	68	図書館振興事業	図書館	<p>・利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p>	<p>(1)子育て支援事業 ・ブックスタート事業(年12回)、ブックセカンド事業、ブックサード事業、にこにこおはなし会、乳幼児出前おはなし会、保育施設への本の配送 ・家庭教育・子育て支援チームとの連携、読み聞かせの効用・スマホ弊害等啓発 (2)学校支援事業 ・団体貸出し及び本の配送 ・土曜事業 ・施設見学、職場実習受け入れ ・学校図書館支援センターとしてのレファレンスの確立 ・町教振図書館部会との連携により、各学校における図書館教育の充実支援 一町小中学校共通年計の作成(県立図書館と協力) 指導案の作成 →図書館教育推進町 (3)読書活動推進事業 ・こどもの読書週間事業 ・秋の読書週間事業 (4)高齢者支援事業 ・あたまイキイキ音読教室 ・高齢者福祉施設への本の配送 ・出前図書館 (5)広報事業 ・図書つうしん発行 ・町ホームページ掲載 ・CATV「とっておき図書館」コーナーの充実 (6)研修事業 ・鳥取県図書館大会への協力 ・県内図書館視察 ・県立図書館主催研修参加 (7)検索機器導入 ・全農協データ(アーカイブ)検索 ・朝日新聞全データ検索可能(1985年以降)(各館独自事業) 【溝口図書館】・布絵本ちくちく教室開催(20回) 令和2年度は新型コロナウイルス選書蔓延防止のため、各コンサートを中止した。</p> <p>・図書館らしい事業づくりとは、おはなし会、読み聞かせコンサート、音読教室等、図書館資料を活用した事業であると考え取り組んでいる。また、子供の読書活動推進は、子育てに直結している。啓発活動の一環として、読み聞かせの重要性やスマホの弊害などを保護者に啓発することも公共図書館の重要な役割であると捉え、今後も関係課等と連携を図りながら、子育て支援に積極的に参加していく必要がある。令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、様々な啓発活動を中止としたが、今後安心安全な形で再開していく。 ・布絵本ちくちく教室では会を重ねるごとに本としての多数の作品が完成している。布絵本は乳幼児が触っては遊ぶことに特化した知育玩具であるので、今後町内の保育施設に貸し出すなど、有効活用を検討していく。 ・令和3年に中学校の教科書が改訂になることから、図書館としても授業に活用できる資料を新たに選書し、レファレンスに備えていく。また小学校の教科書改訂にかかるレファレンス資料も引き続き準備していく。 また、学校司書、司書教諭の相談を受けることが可能となるよう、図書館職員の研修を図りながら、学校図書館支援センターとして機能を整備する。</p>	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 生涯を通じて学ぶための環境の提供(つづき)	②読書活動の推進(つづき)	69	図書館協議会委員	図書館	・図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、事業計画・事業の実施結果の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<p>・図書館協議会を年4回開催し、広く地域の方から意見を聞くことができた。計画推進の後押しをしていただくことができています。</p> <p>・町内の読書活動において地域差が存在することから、「出前図書館」の開設が始まったが、図書館協議会では、さらに発展した事業として移動図書館者の導入の意見をいただいている。色々な面から困難な点もあるが、今後とも検討を重ねていきたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(2) スポーツ・レクリエーションで心と体の健康づくり	①生活の中にスポーツがある暮らしの支援	70	こども体力・運動能力等向上事業	総合スポーツ公園	保育所の幼児を対象とした体力や運動能力の向上を目的に、各保育所に指導員を定期的に派遣し、運動・運動遊び指導を行う。(スマイリースポーツクラブ委託事業)	<p>・町内5保育所で年中長児を対象に運動教室を開催。開催数50回に拡大実施。</p> <p>・運動遊びなどを通じ、子どもの体力・運動機能向上に有効な事業であり、今後も継続実施する</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		71	伯耆町体育団体等補助事業 ・ジュニアクラブ活動支援	総合スポーツ公園	スマイリースポーツクラブに所属するジュニアクラブに対し補助を行い、児童生徒の健全育成、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。	<p>ジュニアを対象にした各種活動を実施し、体力・運動能力・競技力向上や健康増進に寄与した。また、コロナウイルス対策の情報提供を随時行った。</p> <p>・支援対象ジュニア団体 10種目12団体</p> <p>・伯耆町TVや団員募集冊子の配布など、会員増加に取り組むとともに、認知度を向上させるための広報活動を行って行く。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		72	スポーツクラブとの連携による健康づくり	総合スポーツ公園	まめまめクラブ、元気アップ教室やアクアフィットネスなど町民の健康づくりを目的にした健康対策課所管の各種事業をスマイリースポーツクラブと連携し実施する。	<p>町の健康づくり事業をスマイリースポーツクラブに委託し、町民の健康の維持・増進に寄与した。</p> <p>・まめまめクラブ 238回開催 延1,558人参加</p> <p>・元気アップ教室 17回開催 延212人参加</p> <p>・運動による高齢者の介護予防、壮年者の生活習慣病予防などを目的とした健康づくり事業を受託し実施している。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		73	スポーツ推進審議会事業	総合スポーツ公園	教育委員会のスポーツに関する諮問及び町のスポーツ推進に関する事項について研究協議を行う。	<p>・スポーツ推進計画(第2次)【計画期間:令和元年度～5年度】の進捗状況について審議会を1回開催した。</p> <p>・第2次計画の施策実施に向け取り組んでいく。</p> <p>・感染症対策をとりながらスポーツ振興に取り組む手段について協議する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) スポーツ・レクリエーションで心と体の健康づくり(つづき)	① 生活の中にスポーツがある暮らしの支援(つづき)	74	スポーツ推進委員事業	総合スポーツ公園	委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図る ・町内体育行事の運営、協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	<p>・新型コロナウイルスの影響により各種研修会やスポーツ大会運営などのスポーツ推進委員活動が十分に実施できなかった。</p> <p>・スポーツ推進委員のなかからスマイリースポーツクラブ理事3名・監事1名に就任した。</p> <p>・スポーツ推進委員の認知度アップ対策</p> <p>・委員の任期は2年間で、令和3年度が改選となる</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		75	スマイリースポーツクラブ支援(スマイリー独自活動支援関係)	総合スポーツ公園	スポーツを通じて地域住民の健康増進・技術体力の向上を目的とする総合型スポーツクラブであるスマイリースポーツクラブの運営に必要な経費について補助金を交付し、活動を支援する。	<p>スマイリースポーツクラブの活動を支援することで、町民がスポーツに親しみ健康の維持増進を図ることに寄与した。</p> <p>主な独自活動</p> <p>・定期活動:いきいきクラブ(火曜日)296名</p> <p>・スポーツ教室:親子運動教室2回32名、ハウトテニス体験会2回14名、</p> <p>・レクリエーション:ハイキング1回15名</p> <p>・指導者派遣:レクリエーション指導者派遣5回78名</p> <p>※その他事業はコロナ対策のため中止</p> <p>・スマイリースポーツクラブはスポーツ庁・日本スポーツ協会が設立を推奨する「総合型地域スポーツクラブ」であり、行政主導ではなくクラブ員や地域住民の意見を取り入れたスポーツ活動を今後も実施していく方針。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) スポーツ・レ クリエーショ ンで心と体 の健康づくり (つつき)	② いつでも気 軽にスポー ツができる 環境づくり	76	町内体育施設管 理運営事業	総合 スポーツ 公園	町内の社会体育施設である体育館・武 道館・町民グラウンド・総合スポーツ公 園・すこやか村や溝口中学校夜間グラ ウンド施設等の管理運営を行う。 また、管理運営に必要な備品・機材を 整備する。	<p>各施設利用者数(前年比較) ※中学校部活利用は除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設 (町民体育館ほか) 24,042人(△5,090) ・総合スポーツ公園 18,205人(△17,263) <p>新型コロナ対策の為に利用規制を行ったことにより、利用者数が減少した。</p> <p>(主な施設修繕及び備品修繕)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民グラウンド及び溝中グラウンド 投光器撤去 ・町民グラウンド 旧バックネット撤去 ・岸本体育館 卓球防球ネット取替え ・溝口体育館 センターネット修繕 ・岸本武道館 網戸設置、建具修繕 ・スポーツ公園 トレーニング器機撤去、ラグビー場水飲柱修繕、公園遊具修繕(主な業務委託) ・スポーツ公園芝生等更新作業及び野球場内野整備 ・溝口体育館周辺植栽伐採剪定作業 ・各体育館消防設備保守点検業務 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
						<p>・今後も安全で快適なスポーツ環境を提供できるように施設の管理運営を行う。</p>	
		77	体育施設改修事 業	総合 スポーツ 公園	快適な環境で運動できるよう体育施設の 修繕等を行う。	<p>【総合スポーツ公園公衆トイレ改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便器改修(和風便器→洋風便器) 6箇所 ・手洗水栓改修(レバー式に取替え) 4箇所 ・トイレブース改修 1式 <p>* 感染症対策に配慮した機能向上を目的とした改修が実施できた。</p>	◎ 新規事業目標 達成90%以上
					<p>・今後も安全で快適なスポーツ環境を提供できるように施設の管理運営を行う。</p>		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) スポーツ・レ クリエーショ ンで心と体 の健康づくり (つづき)	② いつでも気 軽にスポー ツができる 環境づくり (つづき)	78	伯耆町体育団体 等支援事業 ・一般スポーツ団 体等支援	総合 スポーツ 公園	スマイリースポーツクラブに所属する 各体育部に対し補助を行い、競技力向 上、指導者等の育成及び地域スポー ツの振興を図る。	スマイリーアスリートクラブの活動を支援し、競技力の向上、競技普及及び各種 競技大会へ参加を支援した。 ・支援対象アスリートクラブ団体 7種目7団体 ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		79	各種スポーツ団 体補助事業	総合 スポーツ 公園	伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆 町グラウンドゴルフ協会活動経費の一 部を補助する。	・生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供に寄与した。 ・町内の団体・個人について、スポーツ公園グラウンドゴルフ場、ゲートボール場 の使用料を無料とし、施設の有効利用促進を図った。 ※町大会運営や郡、県大会等さまざまな大会に参加されている。 ・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継 続的サポートを行う。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		80	教育委員会表彰 事業	生涯 学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化 において、顕著な活躍をした者を表彰 することにより、スポーツ・芸術文化の 振興を図るとともに、被表彰者の今後 の励みとなるよう住民に周知する。	今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため表彰式は開催せず、大賞受賞者 には教育長から授与、優秀賞以下については学校経由または郵送で賞状・記念 品を配布した。 受賞者：芸術文化の部 56名 スポーツの部 51名 6団体 児童・生徒以外の一般の対象者の把握が課題である。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
	③ スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進	81	オールジャパン ジュニアトライ アスロンin伯耆補 助事業	総合 スポーツ 公園	全国の小学生を対象にトライアスロン 競技を開催するための事業費の一部 を助成する。	・第26回大会開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により参加者・保 護者・役員等の安全確保が困難との判断から大会を中止した。 ・感染症対策・猛暑対策が大きな課題である。	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) スポーツ・レ クリエーショ ンで心と体 の健康づくり (つづき)	③ スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進 (つづき)	82	地区運動会・そ の他イベント開催 事業	岸本 公民館	町民総スポーツの中心的事業として 運動会を開催し、子どもから高齢者ま での参加により地域の連帯感、親睦を 深めた。 実施にあたっては、地域住民からなる 実行委員会を組織し、企画、準備、運 営を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会岸本地区大会を10月4日に開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ・アンケートにより、競技役員から出された課題を検討し、今後の企画・実施に反映させる。また、集落内の少子・高齢化等により参加集落が年々減っている傾向にある。町民運動会で各集落が楽しく参加しやすいよう参加種目・年代等検討する必要がある。 	
				溝口 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会溝口地区大会を第3日曜日となる10月18日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。このことについては、共通認識のもと、各地区運動会の全てを中止とした。 ・平成29年度、平成30年度、令和元年度と3年連続で雨天中止となった。令和2年度もコロナ禍により中止となった。実行委員会の中でも町民運動会に対する意見は様々であるが、開催にあたっては、前向きに協力をいただける方が大半であり、今後も競技の見直しを進めていくとともに、子どもから高齢者までみんなが楽しめ、親睦が図れる運動会にしていく必要がある。R3年度は感染状況等を勘案して判断したい。 	
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会二部地区大会 二部地区の町民のスポーツの中心的事業として計画し、10月4日実施予定であったが、新型コロナ感染症の影響で中止した。 ・二部地区のスポーツ・健康事業として、二部地区活性化推進機構主催による、グランドゴルフ大会、カローリング大会等を計画したが、新型コロナ感染症の影響で中止した。 ・町民運動会をはじめ、二部地区活性化推進機構や地域住民との連携した事業が定着してきており、継続した連携事業を実施していきたい。 ・運動会の実施については、新型コロナ感染症を考慮した、種目内容の見直が必要である。 	
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会日光地区大会 10月18日中止 ・伯耆町駅伝大会 10月11日中止 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止とした。 ・運動会の競技内容の検討が必要であり、実行委員会で協議をする。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必要。 	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) スポーツ・レ クリエーショ ンで心と体 の健康づくり (つつぎ)	③ スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進(つ つぎ)	83	生涯スポーツ振 興事業(スマイ リーへのスポ ーツ大会運営委託 関係)	総合ス ポーツ公 園	一般町民を対象としたスポーツ大会を 町内スポーツ団体等と連携し開催する ことで、各種スポーツの振興、町民の 健康づくり及び町民の交流・親睦に寄 与する。運営は、スマイリースポーツク ラブに委託。	一般町民を対象とした町主催スポーツ大会を7事業を計画したが、新型コロナ対策のため全て中止となった。 ・4月 バドミントン大会 中止 ・5月 ソフトテニス大会 中止 ・9月 野球大会 中止 ・10月 駅伝大会 中止 ・11月 バレーボール大会 中止 ・1月 バドミントン選手権大会 中止 ・3月 卓球大会 中止 ・今後は感染症対策をとりながら再開していきたい。	
		84	生涯スポーツ振 興事業(ジュニア スポーツ大会関 係)	総合ス ポーツ公 園	町内の小学生を対象にしたスポーツ大 会を開催し、スポーツに親しむ基盤づ くり、体力・運動能力の向上及び小学 生同士の親睦・交流を図る。	小学生を対象とした町主催スポーツ大会を4事業を計画したが、新型コロナ対策のため全て中止となった。 ・5月 スナッグゴルフ大会 中止 ・7月 B&Gチャレンジスポーツ教室 中止 ・9月 学童水泳記録会 中止 ・2月 B&Gジュニアバドミントン大会 中止 ・今後は感染症対策をとりながら再開していきたい。 ・スマイリースポーツクラブが主催する水泳教室・スキー教室・トライアスロン教室・親子体操教室などの事業を支援する。	
		85	スポーツ優秀選 手支援事業	総合 スポー ツ公 園	町内の特にレベルの高いスポーツ優 秀選手に対する支援や顕彰を行うこと で、意欲向上等による一層の活躍とス ポーツに対する町民の関心を高める。	新型コロナ対策の影響により各種全国大会が中止となり申請件数が大幅に減少した。 ・全国大会等に出場する団体、個人に対し経費の一部を補助 3件 ・全国大会等に出場する団体、個人の看板を作成し、役場前に掲示 1件 ・今後も競技スポーツの振興を図るため支援を継続実施する。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		86	東京オリンピック 聖火リレー事業	総合 スポー ツ公 園	東京2020オリンピック聖火リレー伯耆 町ルート実施に向けた準備等を行う。	・聖火リレー鳥取県実行委員会との連絡調整 ・鳥取県警・黒坂警察署との連絡調整等 ・その他関係機関・住民への周知、会場準備等 ・新型コロナウィルスの影響により聖火リレーは1年延期され、令和3年5月21日に開催される事となった。	◎ 新規事業目標 達成90%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成	①町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備	87	中学校区の児童生徒を語る会 (No17事業の再掲)	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区毎に、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。 岸本中校区:各学期1回、溝口中校区:各学期1回 ・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		88	学校運営協議会運営事業 (No5事業の再掲)	総務学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。 平成30年度は、各学校運営協議会の調整、学校支援活動の情報提供や地域学校協働本部事業の運営を行うため、CSディレクターを配置した。	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校で学校運営協議会指定及びCSディレクターを配置し、各コミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業の連携・調整・情報共有等を推進する伯耆町教育ネットワーク会議を設置することで、一体的に「地域とともにある学校づくり」を推進することができ、教職員の地域に対する意識改革や地域・保護者の学校経営への理解を深め、積極的な協力が得られるようになった。児童生徒も地域に目が向くようになった。 ・コロナ禍の現状、「学校づくりフォーラム」は開催できなかったが、二部小学運協の取組を町ケーブルテレビ放送を使い、広く町民に周知できた。 ・学校運営協議会の取組を広報誌で紹介するなどして、町民へのさらなる周知を行いたい。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		89	青少年育成伯耆町民会議運営支援	生涯学習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催(1回)※第2回は新型コロナウイルス感染症対策により書面開催 ・青少年育成伯耆町民大会は実施せず、伯耆有線テレビジョン放送で番組を作成し放映した。 ・町民あいさつ運動の実施(4回) ・マナーアップさわやか運動参加(延べ32名) ・少年を守る店啓発事業(22店舗) ・「家庭の日」標語の募集(応募数809点) ・「家庭の日」標語について、入選作品をCATVで放送するなど周知を図った。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		90	PTA協議会補助金 (No1事業の再掲)	生涯学習	町内小中学校6校のPTAが合同で活動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助金を交付することで、PTA活動の活性化に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 例年町と共催で講演会を開催し、講師料に対する補助金を支出しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により補助対象となる事業が実施されなかったため補助金交付は無かった。 近年、講師謝金を必要としない講演を実施し、補助金の執行がなかったことから、令和3年度以降は、必要時に予算計上することとし、令和3年度は予算計上は無しとした。今後も連携体制を継続しつつ、PTA活動の活性化に向け支援する。 	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成(つづき)	① 町全体で子どもたちを育む「共育」「見守り」環境の整備(つづき)	91	高校生サークル ((旧)高校生ユースセミナー)	生涯学習	高校生が自ら事業を企画することで自主性、責任感を育て、他校の高校生と交流し、仲間づくりを行い、地域で一緒に活躍する高校生の育成を図る。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、活動ができない状況にあり、積極的な新規加入への働きかけができなかった。</p> <p>・活動のリーダーとなる人物を発掘・育成し、活動の充実を図る。 ・継続的に事業を行えるよう、新規参加者の確保について、工夫が必要。受け皿となる地域の団体との連携も必要。 ・中学生にもボランティアでの参加を募る。</p>	
		92	成人式	生涯学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、成人を祝福し激励する記念式典を開催する。	<p>コロナウイルス感染拡大予防のため、中止としたが、記念品(思い出DVD、フォトダイアリー)を例年より充実させて贈った。</p> <p>コロナウイルス感染症の検査体制も整っておらず、未知の部分が多く、参加者の安心安全を優先し中止とした。次年度は、検査体制も整ってきており、ワクチン接種も進むことから、感染予防体制をとって、開催する方向で向かいたい。法改正により成人年齢が18歳に引き下げられる令和4年に向けて、今後の成人式の在り方を検討</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		93	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	<p>青雲寮改修のため事業は実施なし。</p> <p>・スタッフ確保が課題。 ・改修後部屋数が減ったため、参加定員の見直しが必要。 ・長期宿泊を伴い、密の状況となりやすい事業のため、コロナ禍での実施の検討、安全対策の検討が必要。</p>	
	② 家庭教育の充実	94	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業 (No3事業の再掲)	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭教育ハンドブック」を小学校新入学生に配布する。	<p>・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えた町HP掲載の3冊(前期編・中期編・後記編)の紹介を行い、活用を促した。 ・学年懇談・学級懇談で、話題とする事項に関連するページを配布。 ・学校運営協議会でも学習時間の目安など、記載内容について話題に取り上げ、共通理解を図った。 ・今後も、家庭教育ハンドブックの配布を引き続き行いたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(3) 町全体で取り組む青少年の健全育成(つづき)	② 家庭教育の充実(つづき)	95	放課後子供教室 (No9事業の再掲)	生涯学習	子どもたちの放課後の居場所づくり・保護者の就労支援のほか、子どもたちが安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・地域の大人との交流や体験活動などを通じて、コミュニケーション力や地域のつながりを育む。また、放課後児童クラブとの連携も図り、一体型の取組を進める。	<p>実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・水) 83回 ・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 83回 ※新型コロナウイルス感染防止のため、4、5月の活動は中止した。 <p>主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり、学習、読み聞かせ、工作等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 ・一体型の工夫 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
						<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理マニュアルの活用と安全面を十分に配慮した活動。 ・指導する人材の確保と指導体制の充実(情報共有による活動状況の把握と改善に向けての協議)。 ・多様な子どもの特性を理解した運営(学校との連携)。 	
						<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。 ・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。 	
96	学校安全体制整備推進事業 (No52事業の再掲)	総務学事	小学校において、実践的事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況下、各保育所、学校における家庭教育・子育て講演会が中止となった。代替として家庭教育に関する講演を町ケーブルテレビの協力で収録しDVDにした。各園、学校への貸し出し、図書館へ配置し一般への貸し出しを行った。(坂田かおり氏) ・1歳6か月検診の待ち時間を活用して、家庭教育支援チーム事業「読み聞かせのすすめ」を実施(年2回) 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		
				<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。 			

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(4) 人権尊重の まちづくりの 推進	① 人権教育・ 人権啓発の 推進	98	人権教育推進事業	人権政策	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただくための各種事業を行う。	<p>人権教育・啓発活動の企画運営及び、各種学習会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりセミナー開催6回実施(内3回放送講座)参加者130人 ※新型コロナウイルス感染症対応により4回中止 ・研修会へのオンラインでの参加 <p>コロナ禍で事業の中止があいつぐ中、ひまわりセミナーでは、伯耆町がスタジオをもっている強みを生かして、放送講座、DVDの貸し出しによる啓発といった新たな手法をとり入れた。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		99	人権教育・啓発推進協議会運営事業	人権政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を図る。	<p>(1) 人権教育・啓発に関する調査研究及び実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種人権週間広報啓発活動 ・行政職員悉皆研修(差別対応マニュアル等について6回実施・参加者173人) ・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数833点) <p>(2) 研修会及び講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るいまちづくり懇談会中止(参加型学習で、令和3年度に延期) ・人権・同和問題実践研究交流会中止(内容は令和3年度に延期) <p>(3) 資料の刊行及び啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業) ・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸) ・自主製作したDVDを事業所部会の企業へ訪問配布 <p>(4) 関係機関団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究校の指定と授業研究会の開催(中止) ・研修会への参加(オンラインによる参加) ・各種団体の活動支援 <p>新型コロナウイルス感染防止のため明るいまちづくり懇談会等の啓発活動ができなかったため、事業所部会訪問・行政職員部会研修等こまめな啓発、新たな研修等、できることを行った。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(4) 人権尊重の まちづくりの 推進(つづ ぎ)	① 人権教育・ 人権啓発の 推進(つづ ぎ)	100	文化センター管 理運営事業	文化 センター	地域社会全体の中で福祉の向上や人 権啓発の住民交流となる開かれたコ ミュニセンターとして、生活上の各種相 談事業や人権課題解決のための各種 事業を総合的に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区学習会(小中:5~3月、月2回) 小学生(6人) 22回(たくしクラブも参加) 延べ330人(内たくしクラブ180人) 中学生(1人) 21回 延べ21人 ・相談事業 随時 ・各種教室・講座 4教室、各種講座 延べ59回 526人参加。 ・ミニデイサービス事業 ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として 定着。地域活動への参加につながり新しい仲間が増えた。延べ13回217人参加 ・百円ランチ 9回 118人 ・交流研修事業 町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意 識の高揚や差別解消に努めたが、コロナにより参加団体が減少した。 研修会6回 参加者183人 ・年間を通じての体験教室・講座で作品作りを行い、2月開催「だんだんまつり」へ 多くの作品を展示するよう計画していたが実施できなかった。 ・その他児童館事業、講演会、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進 や地域活性化に努めた。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		101	男女共同参画推 進事業	人権 政策	家庭並びに社会生活における活動等 への男女共同参画社会の実現に向 け、男女共同参画推進計画を基に、各 種事業を実施する。	平成28年度から総務課に移管となり、男女共同参画推進計画の策定については、総 務課で行っているが、個別の人権課題の一つとして引き続き広報・啓発を行った。 今後とも総務課と連携して啓発活動を継続して実施する必要がある。	○	継続事業目標達 成90%以上又は 新規事業ほぼ達 成70%以上
		102	町営住宅修繕事 業	人権 政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を 行ない、住環境の充実を図る。	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行い、住環境の充実を図った。令和2年度 は、り災時等対応居室の改築を行った。 町営住宅の適切な管理を行うため速やかな修繕に努める。	○	継続事業目標達 成90%以上又は 新規事業ほぼ達 成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の 創造	① 文化財の保 存と活用	103	埋蔵文化財調査 事業	生涯 学習	開発に伴って事前に発掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。	<p>○三部所在遺跡(真砂土採取事業) 令和2年5月26日～8月26日、10月16日～10月28日 146㎡ 土坑を確認したが、用途は不明。また、周辺にトレンチを入れて確認したが遺構は確認できず、遺跡の広がりはなく、限定的なものである。</p> <p>○小町所在遺跡(伯耆町防災広場造成事業) 令和2年10月5日～令和3年3月19日 245㎡ 竪穴住居跡や溝状遺構を検出し、土師器、須恵器等が出土した。集落及び古墳群に関連する遺跡の存在が考えられる。</p> <p>○根雨原土手下夕遺跡(国道181号(佐川～根雨原工区)道路改良工事) 令和3年3月9日～3月26日 40㎡ 集石を検出し、土師器、須恵器、黒曜石等が出土した。遺跡は河岸段丘上に広がっていると考えられる。</p> <p>-----</p> <p>開発に伴って事前に発掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		104	文化財保護事業	生涯 学習	本町にある指定文化財等の維持管理及を行う。また、出土品の展示や歴史文化に関する講演会等を開催し、郷土の歴史学習の機運を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定文化財 1件、県指定文化財 2件、町指定文化財 11件 ・指定文化財の維持(草刈り、除草等)を実施した。 ・文化財保護審議会を開催し、指定文化財等の適切な管理等について協議を行った。 ・講演会等を実施する予定であったが、新型コロナウイルス拡大防止のため中止となった。 <p>-----</p> <p>文化財保護審議会の意見を基に適切に指定文化財(藤屋炉床)等の管理に努める。</p> <p>郷土の歴史や文化に触れることができるように講演会の開催や情報提供を行う。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		105	文化財整理・保 存施設管理事業	生涯 学習	空き施設である旧鬼ミュージアムを文化財整理・保存施設として再整備するとともに、民俗資料及び文化財の常設展示を行い、貴重な資料・文化財を後世に伝える。	<p>収納されている民具及び埋蔵文化財の整理作業を実施した。平成30年度に旧保存施設より移動したままの状態であったため、梱包の箱を開封し、内容、状態の確認をし、詳細な整理作業の準備として大まかな分類、移動を実施した。</p> <p>-----</p> <p>埋蔵文化財の報告書作成(福島城)に多大な時間を要したため民具整理のスケジュールに支障をきたし、本格的な整理作業に踏み込めなかった。今後は、よりの確なスケジュール管理及び進捗の確認を行う必要がある。</p>	△ 継続事業ほぼ 達成70%以上 又は新規事業 達成不十分 50%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の 創造(つづ ぎ)	② 地域芸術文 化の振興	106	地区文化祭・まつり 開催事業	岸本 公民館	公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	<p>今回の岸本公民館きないや祭はコロナ禍ではあるが、少しでも多くの入場者を見込むため、予定の時期をずらし、11月28・29日に岸本公民館を会場とする町美術展と合同開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検温、問診票の記入など感染症対策を行なったうえで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため岸本小体育館で作品展のみを開催し、他のイベントは中止した。 ・作品展は、岸本小体育館で2日間で209人の入場者があった。(前年度比83%減、前々年度比82%減) <p>・コロナ禍での公民館まつりのあり方を検討する必要がある。平時では、公民館で活動をしている教室・同好会に、引き続き発表や体験コーナーの参加を呼びかける。また、他公民館の出品も検討する。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				溝口 公民館		<p>・溝口公民館祭は、3月20・21日に開催の想定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、早い段階で中止の判断をした。したがって、実行委員会の立ち上げも行っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種同好会や教室の減少傾向がある中、広く町民から作品を募集することにより、一層町民の公民館まつりという意識化を図り、公民館同好会が中心となり、地域を巻き込んで、自分たちのまつりという機運を高めていきたい。 ・中学生ボランティアには自主性を尊重するとともに、負担感とならないよう配慮し、参加した中学生の社会性の意識向上・醸成に繋がるよう努めたい。 	
				二部 公民館		<p>・第37回たたらまつりを2月20日～22日開催予定であったが、新型コロナ感染症の影響で中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催にあたっては、地域住民の積極的な参画により、まさに「地域住民手づくり」のまつりにしていきたい。 <p>・地域住民が主体となった「二部地区手づくり」のまつりが開催できており、引き続き地域住民主体のまつりを企画運営していきたい。</p>	
				日光 公民館		<p>・第41回日光ふるさとまつり 3月13日～14日開催に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。実行委員会を組織し住民参画により、地区住民・各種同好会の作品展示・体験コーナー・農産物の即売・日光そば・餅つき等の催しの他に義方公民館の協力を得て海産物の即売を予定していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会では地区住民の意見を十分に取り入れて事業内容を検討。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必要。 	

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の 創造(つづ ぎ)	② 地域芸術文 化の振興 (つづき)	107	写真美術館管理 運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月10日から5月31日、翌3月1日から4月9日までを臨時休館としたため、企画展の展示期間を延長し開催回数を減らした。入館者数については、新型コロナウイルス感染拡大、臨時休館措置等の影響により、昨年に比べ約42%減少した。 ・入館者数13,347人(過去5年間の平均入館者数 20,631人) ・町民入館者数215人 ・企画展2回、地元新聞紙、その他雑誌等掲載 <p>なお、11月7日(土)には、開館70万人記念として記念セレモニーを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本博物館協会による「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿った運営を行う。 定期的な館内除菌、検温、手指消毒の徹底等 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		108	写真美術館改修 事業	美術館	施設の老朽化や損傷等について、更新・改修等を行うことで、展示環境や来館者の利便性・観覧環境の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は予算計上なし ・エレベーターの保守部品供給が令和5年で終了するため、令和4年度で更新を予定している。 		
		109	鬼の館運営事業	生涯 学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化等改修工事設計を行った。 ・コロナ禍のため、公演会、イベントの実施が大幅減となった。 ・引き続き文化団体や個人の発表の場を提供するとともに、住民が文化に直接触れる機会を提供していく。 ・R3年度に長寿命化等改修工事を行う。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		110	地域文化活動の 支援	生涯 学習	豊かでうまいのある生活を創造するため、芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化活動の支援のため、伯耆町文化振興会の支援と、各種文化事業を計画した。 ・事業によっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ・文化振興会の支援 詳細はNo.112参照 ・伯耆町美術展(名称変更:旧文化展) 特別展:光木桂二洋画展 11月28日(土)~30日(月) 来場者575人 ・伯耆町民音楽祭 中止 ・くろぼくコンサートの支援 中止 <p>住民と一体となって、芸術文化の振興を図っていく。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(5) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興(つづき)	111	文化活動団体支援事業	生涯学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行い、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援した。 ・町内文化活動団体の練習会場として、鬼の館を無償で貸し出した。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		112	文化振興会補助事業	生涯学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数45人(令和3年3月現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、例年の事業を大幅縮小しての実施となった。 ○総務部会 ・総会及び文化講演会(参加者77人) ・会報16号発行(全戸配布) ○美術部会 ・美術展(来場者575人) 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		113	教育委員会表彰事業 (No80事業の再掲)	生涯学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため表彰式は開催せず、大賞受賞者には教育長から授与、優秀賞以下については学校経由または郵送で賞状・記念品を配布した。 受賞者:芸術文化の部 56名 スポーツの部 51名 6団体 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	③ 芸術文化活動を通じた体験・交流の促進	114	社会教育主事等の育成 (No65事業の再掲)	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。 ・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		115	読谷村教育交流	生涯学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・2年に1回の実施のため、今年度はなし。 		
						<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の事業実施の予定だったが、沖縄県に緊急事態宣言が出る状況が続いており、実施を見合わせ、令和4年度の実施とする。 ・参加者が集まりにくい。学習会等事前準備の充実を図る必要がある。 ・ジュニアリーダーの高校生の確保が課題。 ・冬の交流の受入れ側のスタッフ体制。 		

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(5) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の 創造(つづ ぎ)	③ 芸術文化活 動を通じた 体験・交流 の促進	116	写真芸術・文化振 興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催する。	<p>・写真美術財団の事業として、例年フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップを実施しているが、新型コロナ感染拡大の影響により、ワークショップ及びフォトコンテストの表彰式は中止した。</p> <p>・フォトコンテスト 応募点数：一般の部519点(252人) 18歳以下の部:131点(108人) 審査員：織作峰子氏(写真家、大阪芸術大学写真学科学科長)、川本貢功氏(写真家、二科会 写真部名誉会員)、平間至(写真家) 入賞・入選作品展示：10月28日(水)～11月30日(月)</p> <p>・フォトスクール プログラム：作品鑑賞、デジタルカメラの基礎講座、撮影会、撮影会作品の講評 参加者数：6団体(町内小中学生他) 6回 88人</p>	<p>・メーカー側の経営悪化により、フォトコンテストへ景品供給が減っている。また、フォトスクール用のカメラの貸与も、1社のみとなったため柔軟に対応できにくくなっている。新たな借入先を見つけるか、購入するか等の検討が必要。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長及びPTA会長、スポーツ推進審議会委員に送付し、無記名で意見書を返送いただいたものを掲載しています。

教育行政全般に関するご意見・ご感想	<p>新型コロナウイルス対応を迫られる中、ご配慮をいただいたために、クラスターが発生することなく今日を迎えていることに心から感謝を申し上げます。</p> <p>ただし、各項目の「評価」の欄はコロナ禍での事業の中止を差引いての評価となっており、本当にそれでよいのかという印象を受けました。何らかの代替事業を行って「○」ならばまだ首肯できますが、ほぼ中止でも「○」という項目があるとすればいかがなものかと思えます。</p>
	<p>コロナ禍の中、多くの行事や活動が中止になりました。2年連続です。体験できなかった、特に子どもたちへの影響はどうでしょうか。無理はできませんが、工夫して不十分でも経験させることも大切だと思います。</p>
	<p>コロナ禍の防止対策、感染症予防のため、多くの事業が中止された。その影響を評価、その対策を検討する必要があると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度(今年度)の事業に、その対策を生かす工夫がなされたか ・中止したことで、マイナス面プラス面がどのようにあらわれたか
	<p>今期は新型コロナにより各事業が中止になり、各学校、関係者の人は大変だったと思います。その中でも色々と事業を進めておられ、ご苦労様と言いたいです。</p>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
1	PTA協議会補助金	補助金交付をしなかったことに対する評価が必要ではないでしょうか。
2	家庭教育支援事業	例年とは違う企画により目先が変わってよかった。
		講演会を中止し、DVDの貸し出しに代替したことは評価できる。
		コロナ禍の中、講演をテレビ放送したり、DVD化し、貸し出せるように工夫されたこと、良かったと思う。
		学校、図書館等での貸し出しだけでは利用者が限られてしまうので、ホームページ等ネット上で視聴できるようにしてはどうでしょうか。
		コロナ禍では、保護者のSNS利用マナーを問われる様な事案もあったと思います。幅広く「親育ち」の観点で取組を希望します。
コロナの状況で開催が難しくても、工夫をされ代替で事業をされていて良いと思います。		
3	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業	ハンドブックの内容が良いし、HPでも見られるので活用してほしい。実際どの程度活用されているのかわからないが、低調なら活用方法を考える必要がある。
		学校と家庭をつなぐ、家庭教育ハンドブック配布については、今後も継続していただきたい。
		このハンドブックがあることで当事者は目安を意識でき、また学校運営協議会でも共通理解されているのもよいです。
4	伯耆町教育ネットワーク会議事業	挨拶の取組だけでは手詰まり感が否めない。伯耆町学校教育全体の「学校運営員会」的な役割をもたせる方がよいと考える。
		のぼり旗がやぶれたりしている集落もある。計画的に更新が必要である。
		書面会議を一步すすめて、ZOOM会議等を考えたい。
		広報活動を工夫しておられることは評価できるが、地域住民への認知度は低いような気がする。
		『あいさつの響きあう町』の取組、大変良い取組だが、コロナ禍ということもあり、少し広報等、初年度と比較し、広報を含め停滞しているように感じる。
あいさつについては、子どもたちの方からのあいさつがかなりできていると思います。地域の大人どうしもあいさつをしあえる地域づくりが大切。		

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
5	学校運営協議会運営事業	校区の自治会と協働することを模索している最中です。「よい地域づくり」に学校がどのような役割を負えるか、情報提供をお願いしたい。
		CSの取組が更に町内に周知されることが必要。CATVでの広報は有効であった。
		町ケーブルテレビ放送の活用は評価できる。
		地域の一般の人は制度についてあまり知られてない。地域に根差していると言えるだろうか。活動については評価する。
		学校運営協議会の委員の方々には、学校の教育活動について、いろいろとご支援していただき、心から感謝しています。
6	地域学校協働本部事業	上記の学校運営協議会と一体として推進するという方針の中で、両者を分けて評価することが妥当なのか、大いに疑問です。
		有線テレビ、DVDの作成、活用は評価できる。
		様々な地域ボランティアの方々にお世話になり、学校の教育活動が充実したものになっています。(コロナ予防のため、例年どおり実施できないものもありますが)
7	子供の体験活動事業(公民館等事業)	一度中止してしまった事業を復活させることはなかなか難しいとは思いますが、夏休みのお楽しみ等、ぜひ復活させてほしい。
		3密の回避など感染対策を工夫し、大切な体験を継続して欲しい。
		中止、縮小された事業について、そのことがどのようなマイナス面となっているかふりかえること。体験不足は、その後の成長(運動能力、体力)に影響を及ぼしているのか。※NO8、NO9の事業も同様
		コロナ禍の中で、例年のような活動ができなかったと思うが、やり方を工夫しながら、実施できたと思う。毎年、魅力ある内容の活動が計画されていると思う。
		コロナ禍での活動で制約があり大変だったと思います。子どもたちの興味を喚起する工夫を継続してください。
8	子供の体験活動事業(学校事業)	※NO7の事業と同様(中止、縮小された事業について、そのことがどのようなマイナス面となっているかふりかえること。体験不足は、その後の成長(運動能力、体力)に影響を及ぼしているのか。)
		地域の方々の支援で有意義な体験活動を行うことができます。
9	放課後子供教室	※NO7の事業と同様(中止、縮小された事業について、そのことがどのようなマイナス面となっているかふりかえること。体験不足は、その後の成長(運動能力、体力)に影響を及ぼしているのか。)
		多様な子どもが増えつつあるなか、指導員と学校との連携が必要なのではないかと。
		何人ぐらいの参加があるかわかりませんが、参加者が少ない場合は工夫が必要と思います。
10	伯耆町教育振興会事業・地域教育	「社会に開かれた教育課程」に向けて、地域の教育資源の発掘、情報提供は大きな役割だと考える。
11	伯耆町教育振興会事業・保小中一貫教育	授業実践の交流を通して、教員どうしの交流を進めていくことが大切であると思う。
		保小に於いて、もう少し細かい点での連携が必要と考えます。行動面の他、体力面等。
12	小中一貫学力、人間力定着促進事業・小中一貫関係事業	小中一貫カリキュラムの見直しはぜひ行っていただきたい。
		現状体制の維持はできているものの、推進という面では疑問を感じる。今後どのような方向に進むべきなのか、地教委の方針を示すべきと考える。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
13	スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動)	コロナ禍で中止したことも多く、とても達成とは言えない。
		伯耆町ではあるが、岸本地区、溝口地区と分けて行う事も必要ではあるが、岸本地区と溝口地区の交流は？
		小中交流会をコロナ禍の中、可能な限りの取組を行うことは、6年生が中学校生活のイメージ化を図り、中1ギャップの解消につながる効果や保護者の安心感につながるものである。
		小学校6年生の中学校部活動体験や生徒会活動体験の学習は有意義だと感じています。
14	中学校教員の小学校への乗入授業	乗入授業を実施することによって学力向上だけでなく、生徒指導の面でもよい影響があると思う。
		本校では校内事情で乗り入れ授業ができる状況ではなかった。その場合にどのように評価するのが疑問。
		小中一貫した教育体制の一層の推進がのぞまれる。乗り入れ授業の他、教育目標を共有して発育、発達段階を考えたい。
		必要と考えます。
		岸本中学校は何故行わなかったのか？
		乗り入れ授業を通じた、6年生児童理解、小学校での学習状況の把握につながる。また、児童にとっては、質の高い専門的な授業を受けることができる取組である。
15	就学支援検討会	全体会がなくとも何の不都合もなかった。むしろ、無駄な待ち時間がなく良かった。
		伯耆町ではとても丁寧に就学支援が行われていると感じています。
17	中学校区の児童生徒を語る会	より生の情報のやりとりができており、成果があると感じている。
		岸本中校区の生徒が溝口中に通学する状況など十分な問題解決がなされていないと思います。
		中学校区ごとの会の開催、関係者の参加は、校区全体の児童生徒の情報共有と連携を図る大切な役割を担う会である。
		いじめや不登校の問題は、その子の一生に影響を与える問題だと思います。早いうちに芽を摘む対応をお願いします。
18	学力向上推進計画策定と進捗管理	分析は大事ですが、数字にこだわりすぎるのも違うと思っています。先生方や子ども達にも負担になりすぎない実施を望みます。※NO19の事業も同様
19	標準学力調査及び分析の実施	年2回の標準学力調査の実施を通し、町内児童の学習状況、成果と自校の課題を把握し、改善に努めることができる。
		NO18の事業と同様(分析は大事ですが、数字にこだわりすぎるのも違うと思っています。先生方や子ども達にも負担になりすぎない実施を望みます。)
		児童の学力の実態や継年変化を捉えるのに有効なものであり、継続していくことを希望します。
21	体力向上計画策定と進捗管理	児童生徒の柔軟性の向上についてどのような見取りがなされたのか疑問。
		課題となる種目(向上がはかられねばならない体力、運動能力)に対して、タイムリー(その時期)でなければ、発達がのぞめない【運動神経系】体力に注目してほしい。
		知、徳、体のバランスの取れた教育の推進とありますが、一般の学力面での連携は取れているかもしれませんが、体力面での保小中の連携が十分ではないと思います。体力テストの判定だけにこだわりすぎだと思います。
		課題については、実態を把握し、改善策を工夫しながら取り組んでください。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
23	小学校外国語教育推進事業	必要だと考えますが、基本的な「えんぴつの持ち方」なども充分にできていないと思います。
		英語教育は必要なので、実施状況を把握しながら、能力向上に取り組んでください。
		ALT配置は、町内小学校での英語教育推進、各校の英語教育を均等な水準に保つ、大切な配置になっている。今後も事業の継続をお願いしたい。
		小学校への外国語教育導入に対応するため、町内全小学校を対象としたALTを1名配置していただいていたが良かった。小学校教諭が英語が堪能というわけではないので、今後、日本語のわかるALTをお願いできると打ち合わせ等、効率よくできる。
24	外国青年招致事業	民間を活用してのALT配置で救われたものの、ジェットの脆弱性には驚きを隠せない。このままジェット依存でよいのか疑問。
		ALTの先生の存在を子どもたちは必要としていると思いますし、このような時こそ多様な価値観を理解するためにも、ALTの方は大人にも大切だと思います。
25	栄養教諭による食指導	コンビニ等の普及により、部活生(高校時)の為にも、中学生の保護者には必要と考えます。
		家庭での食事も重要なので、親に対する食指導はできないでしょうか。
		コロナ禍の中、来校を通じた、食育指導を十分に行っていただくことが難しい。可能な限りの対応、食育指導に感謝している。
		生産者のお顔が見える給食の実施は、伯耆町の特徴だと思います。元来の野菜以外にも珍しい品種を育てている町内農家の方は増えているので、ぜひ活発に実施されることを望みます。
		地域の食材で自分たちの体がつくられているを知ることは、地域を大切にすることにもつながると思います。
27	運動部活動推進事業	部活度の社会体育への移行を計画的に行って行ってほしい。
		部活動指導員の豊富な配置について非常に評価できる。
		部活動指導員の配置が拡充されており、活動の活性化、教員の負担軽減が図られている。更なる拡充を望む。
		専門的指導者の配置は評価できる。 新たな部活動のあり方(学校教員にたよらない←その仕組みと経費負担)を進めてほしい。
		小学生でスポ少で頑張っても中学に部活がなく、目的を失ってしまう状況がある。岸本中で今年度の入学生が運動部に入部者が少ない現状をどう捉えたいのでしょうか。単に「やりたい部活がない」じゃあないと思います。岸本中学校で「創作部」に入部して、本来の運動部をクラブチームに入部し、現場では部員不足が生じています。(中学に部活がないことに対して)県、国の事業を活用し、指導者の配置を考えて欲しいです。保護者の意見も聞いて欲しいと思います。
		部活動は教員の負担が大きいため専門的な指導員をすべての部活動に配置できるような取組を行ってください。
28	特別非常勤講師配置事業	タブレット活用のための講師を配置するようにはどうだろうか。
		専門的な知識を有する特別非常勤講師の配置は、児童にとって、質の高い、教育効果が高まる取組である。今後も継続をお願いしたい。
		専門的な知識技能により、授業の充実を図ることができた。
29	青雲寮管理運営事業	どの程度の利用があるのでしょうか。維持管理コストの費用対効果はどうでしょうか。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
30	小中一貫学力、人間力定着促進事業・各校研修会	謝金の対象が柔軟になったことが評価できる。
		学校による開催頻度の差が大きすぎる。
		今年度は新型コロナウイルス感染症のため、県外講師を招くことはできないが、学校の研究を推進していくためには重要な事業と考えます。
36	学校要請訪問、学校随時訪問	校内授業研究会を開催し、授業参観、その後の指導助言を通じた校内の研究推進が図れた。
37	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	日頃の学校教育の理解、また、訪問を通し、具体的なアドバイスをいただくことで、自校の課題改善に有効な手立てとなっている。
38	少人数学級実施事業	議論の多い「少人数学級」ですが、生徒が折れやすくなっていることは如実に感じる昨今、担任のフォローの量が圧倒的に変わってくる。また、教員の視点から言えば、少人数学級は業務改善に大いにつながっている。
		少人数によるメリットも大きいと思いますが、今後複式学級が増えるようであれば統合も視野に検討してください。
39	スクールソーシャルワーカー活用事業	事案の大部分をSSWに相談し、その都度、有効なアドバイスを受けてきている。
		学校と連携したSSWの活用は有効だと思います。
		定期的な来校を通して、児童一人一人のきめ細やかな気づき、いじめや不登校の未然防止、校内教職員の連携意識の醸成につながり、教育効果が大きい。
40	スクールカウンセラーとの連携	本校にとってSCは欠かせない柱となっている。
41	特別支援教育支援員配置事業・早期支援コーディネーター	LD等専門員、早期支援コーディネーターによる観察、面談で、具体的助言をしていただき参考になった。
		早期支援コーディネーターの存在が適正な就学支援を行う上でも、その後の適切な支援を行う上でも、とても重要な役割を果たしておられます。
42	特別支援教育支援員配置事業・学習支援員等	学習支援員の配置により、必要な児童への細やかな支援が可能となり、落ち着いた学校全体の環境を整えることができている。
		特別な支援を要する児童が増え、また、多様化している中で、学習支援員さんの存在は、学校にとってとても大きな意義があります。これからも継続配置をお願いします。
43	学校図書整備及び図書館司書配置	学校司書と生徒のつながりで図書館への人流もふえていると感じる。システムよりも人の方が重要だと考える。
		図書システムの導入を求める。現代の学校図書館には、なくてはならないものであり、これがないのに整備されているとは言えない。学校司書の全校配置は評価できる。
		司書教諭補助職員の配置により、学校全体の図書環境の整備、読書推進につながっている。
		図書館教育、調べ学習等の充実、子どもの読書活動の推進などにおいて、図書館司書の配置はとても大切なことと考えます。
44	校務支援システムの活用	システムの全機能を使い切ることはできていないが、確実に業務改善につながっていると感じている。
		教職員が使い慣れてきて、業務の効率化を図ることができた。全職員の共通理解を考えたとき、町職の方にもC4th、掲示板だけでも使えらるとより業務が軽減される。
		年々、有効活用されてきていると感じています。
45	教育支援センター運営事業	本校にとって教育支援センター職員との協働は欠かすことができない。
48	学校施設整備事業	トイレの様式化改修整備を通して、児童一人一人のニーズに応じたトイレ使用ができた。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
49	小学校施設修繕事業	学校の個別対応、ニーズに対して、スピード感をもって取り組んでいただき、感謝しています。
50	中学校施設修繕事業	非常に速やかかつ丁寧に対応してもらっていると感謝している。
52	学校安全体制整備推進事業	代替要員、後継者確保の観点から、各中学校区ごとに複数名配置してはどうでしょうか。 スクールガードリーダーの配置により、通学路の安全確保と児童への安全意識、高揚が図れている。(6月の全校朝会での講話等)
53	バス事業担当課との連携	スクールバス運行体制のスムーズな整備と常に学校の教育的ニーズへの臨機な対応を行っていただき、感謝しています。
54	ICT環境の整備	非常に速やかに対応してもらったと感謝している。 リモート研修が進み、児童も使用できる機会が格段に増した。今後、教職員(級外)が使える予備をさらに整備していただけるとありがたい。 充電保管庫の設置等、引き続き整備を進めていただきたいと思います。
55	防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実	年々気候が極端になり、災害も大きくなっている中で、防災教育はとても重要です。地域とも連携してできる取組もあるとよいと思います。
58	食材供給連絡協議会との連携	地産地消率が90%以上で、町内産使用率もその半分くらいの割合というのは素晴らしいと思います。
59	伯耆町教育振興会事業・学校事務	学校事務職員に求められる役割が多様化しており、事務量も多い状況です。財務会計の手続きや教委との役割分担を工夫することで、業務負担の軽減ができないものか考えます。
61	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	多くの事業が中止されたが、それに代わる内容(あり方)の検討が必要と考える。中止したことによる(マイナス面) 活動の内容を知らない人が多いので、住民に対する情報の発信方法を工夫する。 公民館での活動は特に高齢者の方にとって、生きがいづくり、出会いの場としてとても大切だと思えます。
67	図書館管理事業	図書館を支えていく「図書館友の会」や「図書館ボランティア」の発足も期待しています。 コロナ禍で図書館事業がかなり中止になりましたが、本の貸し出し業務は継続されていて町民の役に立っていると思う。 図書館利用数は年々上がっている。又、図書利用についても大変丁寧にアドバイスいただき助かっています。只、活用の地域格差が課題と思えます。
68	図書館振興事業	図書館活用指導案の作成等、先進的な取組で学校図書館にも刺激をもらっていることを評価する。 集落の高齢化に伴って、出前図書館や移動図書館の期待が高まっている。図書館事業の推進のためにも移動図書館車の導入が必要である。 絵本の読み聞かせ会、図書館絵本の貸し出しなど、絵本に触れる機会を作っていただき喜んでる。コロナの感染が拡大せず、計画通り行えることを願います。 コロナ禍で事業がストップ、残念です。早く収束して従来の活力としたいと願っています。
70	こども体力・運動能力等向上事業	スマイリースポーツクラブの人的資源を活用した事業は評価できる。一層の充実を求める。 ※NO71、NO72の事業も同様 近年、子どもの体力低下が気になる中、運動教室を多く計画していただき、喜んでる。今後も引き続きお願いしたい。
72	スポーツクラブとの連携による健康づくり	NO70の事業と同様(スマイリースポーツクラブの人的資源を活用した事業は評価できる。一層の充実を求める。)
73	スポーツ推進審議会事業	NO70の事業と同様(スマイリースポーツクラブの人的資源を活用した事業は評価できる。一層の充実を求める。)

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
74	スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員とスマイリースポーツクラブとの連携は評価でき、今後の活動の活発化を求めたい。
75	スマイリースポーツクラブ支援 (スマイリー独自活動支援関係)	本町の地域部活動の主体はスマイリーが負うべきかと考える。それに向けての動きがあるのかが疑問。
		地域に出かけてのスポーツ活動の支援を進めることで、高齢者の活動がのぞまれる。(派遣型、出張型)一層の推進がのぞまれる。
76	町内体育施設管理運営事業	ハード面(直接的なスポーツ活動に関わる)だけでなく、周辺施設(トイレ他)の機能向上は評価できる。※NO77の事業も同様
77	体育施設改修事業	NO76の事業と同様(ハード面(直接的なスポーツ活動に関わる)だけでなく、周辺施設(トイレ他)の機能向上は評価できる。)
78	伯耆町体育団体等支援事業・一般スポーツ団体等支援	支援事業に対して評価できる成果をアピールする。どのような成果を得たか。※NO79の事業も同様
79	各種スポーツ団体補助事業	NO78の事業と同様(支援事業に対して評価できる成果をアピールする。どのような成果を得たか。)
81	オールジャパンジュニアトリアスロンin伯耆補助事業	今後も継続する必要があるのか大いに疑問を感じる。
		中止された事業のこれからの対応(対策)。今後もコロナ禍は続くと考えられ、どのように対応していくのか。中止した報告と今後の対応は? マイナス面、どのように対応していくか。 ※NO82~84の事業も同様
82	地区運動会・その他イベント開催事業	地区運動会を今後も継続する必要があるのか大いに疑問を感じる。
		NO81の事業と同様(中止された事業のこれからの対応(対策)。今後もコロナ禍は続くと考えられ、どのように対応していくのか。中止した報告と今後の対応は? マイナス面、どのように対応していくか。)
		コロナ禍により各公民館事業が中止になり、町民としては寂しい限りであるが、対策を講じた上で出来る限り開催して欲しい。
		少子、高齢化で参加集落が減っている。集落の役員の負担が重く、開催について検討を要する。
83	生涯スポーツ振興事業(スマイリーへのスポーツ大会運営委託関係)	NO81の事業と同様(中止された事業のこれからの対応(対策)。今後もコロナ禍は続くと考えられ、どのように対応していくのか。中止した報告と今後の対応は? マイナス面、どのように対応していくか。)
84	生涯スポーツ振興事業(スマイリーへのジュニアスポーツ大会運営委託関係)	NO81の事業と同様(中止された事業のこれからの対応(対策)。今後もコロナ禍は続くと考えられ、どのように対応していくのか。中止した報告と今後の対応は? マイナス面、どのように対応していくか。)
89	青少年育成伯耆町民会議運営支援	「家庭の日標語」、「人権標語」と生徒は年間2回標語を書くことになっている。しかも、目新しい標語はなくなっている。目先を変える必要があると感じる。
92	成人式	成人年齢は18歳となるが、成人式としては、参加のしやすさも考えると20歳で実施するのが適当と考える。
		安全に開催できることを願っています。日程などは社会人でも学生でもより参加しやすい日に行われるべきと考えます。家計への負担なども考慮し、長期休暇に実施されることが一般的ではと考えます。
93	通学合宿事業	今年度の取組について、コロナ禍での実施については、検討が必要ではないでしょうか。
98	人権教育推進事業	「ひまわりセミナー」の手法を工夫したことを評価する。
99	人権教育・啓発推進協議会運営事業	「家庭の日標語」、「人権標語」と生徒は年間2回標語を書くことになっている。しかも、目新しい標語はなくなっている。目先を変える必要があると感じる。
		事業所部会訪問、行政職員悉皆研修は、効果があると思います。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
102	町営住宅修繕事業	人権政策室がいつまでも負う事業ではないと考える。
104	文化財保護事業	郷土の歴史や文化を学ぶためにも、史跡の現地説明会や公民館を利用した発掘品の巡回展示等も実施してほしい。
105	文化財整理・保存施設管理事業	小中学生の文化財の見学等への対応をお願いしたい。
		計画的に進めてください。
106	地区文化祭・まつり開催事業	コロナ禍による中止が相次ぎ、非常に残念に思う。特に各地区主催によるイベントでもあり、対策を講じた上で開催して欲しい。
109	鬼の館運営事業	地域の文化事業の拠点として今後もぜひ活用して行ってほしい。
110	地域文化活動の支援	公民館まつりと共催の町美術展の開催、コロナ禍の中で苦勞されたと思いますが、良かったと思います。人数制限などの工夫で今後も開催努力してください。
116	写真芸術・文化振興事業	本校としてはフォトスクールがあること、広く言えば校区に美術館があることの恩恵が大きいと感じている。

●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価	
				主な課題・改善方針等	評価	評価選択肢
教育委員会の活動	1	(1)教育委員会の会議の運営状況	教育委員会会議開催	<ul style="list-style-type: none"> ・規則等に基づき、定例会12回、臨時会4回を開催し、案件数115件(報告39件、議事26件、協議19件、その他31件)を審議した。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		教育委員会会議の運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・慎重な審議と会議の効率化を図る。(定例会の議案または資料を事前に配布する) ・事前に会議資料を配布いただき、議題内容が十分理解でき、会議が効果的に進められた。 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
	2	(2)教育委員会活動の保護者や地域住民への情報提供・情報発信	広報活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催について、防災行政無線で周知した。また、教育委員会の自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページを掲載し、情報提供を行った。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		議事録の開示・公開の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開示請求があれば、議事録の開示を行う。 ・議事録の概要を町ホームページで公開しているが、開示等請求があれば開示を行う。令和2年度は請求無し。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
	3	(3)事務局の管理運営	教育委員会の事務局管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等をいただいた。(議会提出案件、標準学力調査結果など) ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価	
				主な課題・改善方針等	評価	評価選択肢
(4)町長部局との連携	4	教育委員会と町長部局との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・町長との懇談会を実施する。 ・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、総合教育会議を1回開催し、次年度の予算要求、教育事情等に関して協議・検討を行った。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				<ul style="list-style-type: none"> ・予算の要求などに関しては、教育委員として助言するようなことはあるのか疑問です。 		
(5)教育委員の自己研鑽	5	学校訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問を行い、小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。また、学校行事等へ参加した。(卒業式・入学式など) 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でも、学校訪問を実施していただき、各校の実態、教育方針等、また、子どもたちの学びの姿が把握できた。 		
				<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、二部公民館で定例会を開催し、併せて当該施設の事業進捗状況等を報告した。 		
(5)教育委員の自己研鑽	6	所管施設の訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合しての研修会は開催されなかったため、オンライン研修等の内容を共有したり、定例教育委員会において、事務局から情報提供したりし、委員研修の代替とした。 		
				<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修は集中することが難しいと感じつつ、やはり他の地域の取組や問題を直接伺うことができるのは有意義と感じました。 		
(5)教育委員の自己研鑽	7	研修会等参加	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員を対象として各種研修会等に参加し、教育委員としての知見を広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合しての研修会は開催されなかったため、オンライン研修等の内容を共有したり、定例教育委員会において、事務局から情報提供したりし、委員研修の代替とした。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修は集中することが難しいと感じつつ、やはり他の地域の取組や問題を直接伺うことができるのは有意義と感じました。 		
				<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続実施 		